

# 芦屋市 指定ごみ袋導入等に関する事業所アンケート調査結果（郵送）

## 1. 調査概要

### （1） 目的

芦屋市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の策定にあたって、事業所の日頃のごみの減量、分別の促進、ごみ捨てマナーに関する意識の向上やルールの徹底など、排出の適正化を目指すとともに、指定ごみ袋の導入を検討するにあたっての調査を行い、今後の施策検討のための基礎資料とするために実施しました。

### （2） 調査対象

2,000 事業所

【選定方法】 電話帳による抽出

【抽出条件】 市内に住所を有する事業所

### （3） 調査方法

回答は無記名とし、令和3年2月15日～3月15日を調査期間として郵送による配布、回収を実施しました。なお、調査期間を超えて返送された調査票についても、集計対象としています。

### （4） 調査項目

○事業所の属性

- ・業種、事業形態、従業員数、建物の所有形態、所在地

○ごみの処理責任について

- ・ごみの処理責任についての認知状況

○ごみの捨て方について

- ・燃やすごみの捨て方の現状
- ・燃やさないごみの捨て方の現状

○指定ごみ袋制度の導入について

- ・指定ごみ袋制度の導入についての考え・理由
- ・事業者用指定ごみ袋の料金について
- ・指定ごみ袋を導入するうえで考慮すべき項目

○市民からのごみの回収等について

- ・市民が、事業所に無料で持ち込みできる品目
- ・市民から、有料で回収可能な廃棄物
- ・事業所の市のホームページ等への紹介や掲載について

### （5） 回収の結果

抽出数 : 2,000 事業所

有効回収票数 : 530 票

有効回答率 : 26.5%

### （6） 留意点

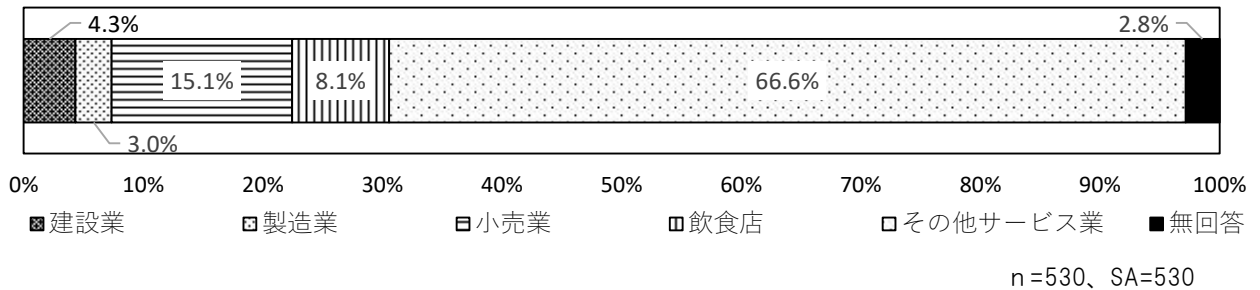
- ・集計では、四捨五入の都合上、数値の合計が100%にならない場合があります。
- ・グラフ中のNとは、回答者数を表し、無回答を含みますが、無効・除外した回答を含みません。
- ・グラフ中のSAとは単数回答、MAとは複数回答の設問であることを示しています。
- ・回答の比率（%）は、その質問の回答者数を元に算出しました。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超える場合があります。

## 2. 調査結果

### (1) 事業者の属性

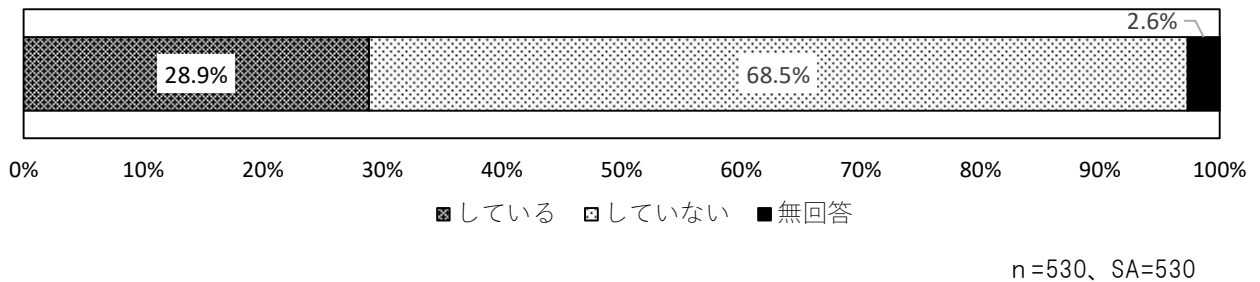
#### ① 業種

・「その他サービス業」が66.6%と最も多く、「小売業」が15.1%、「飲食店」が8.1%でした。



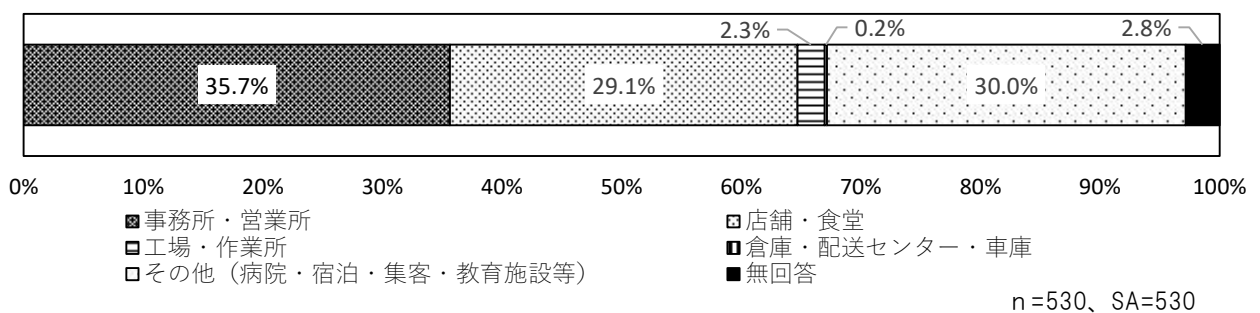
#### ② 家庭の住居との併設

・「していない」が68.5%、「している」が28.9%でした。



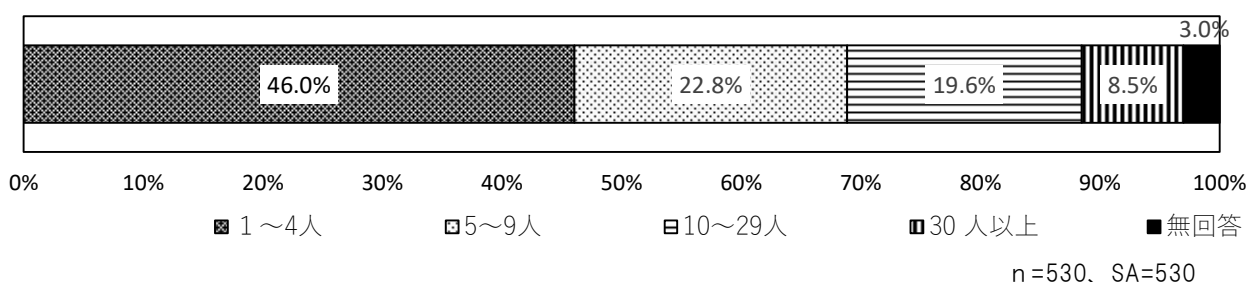
#### ③ 事務所の形態

・「事務所・営業所」が35.7%と最も多く、次いで「その他（病院・宿泊・集客・教育施設等）」が30.0%、「店舗・食堂」が29.1%でした。



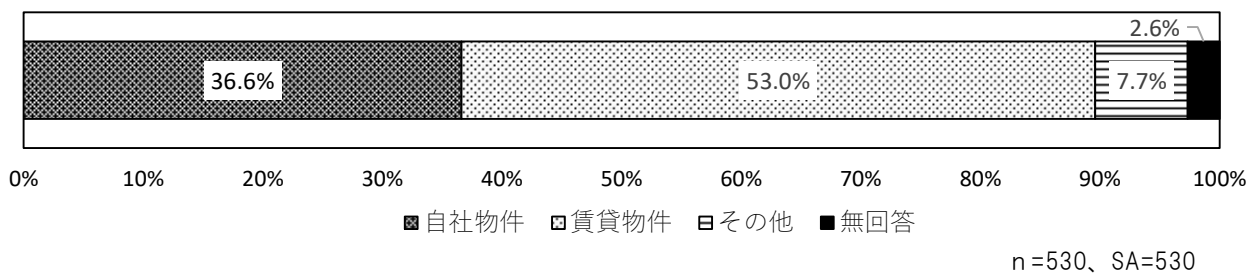
#### ④ 従業員数

・「1～4人」が46.0%と最も多く、「5人～9人」が22.8%、「10～29人」が19.6%でした。



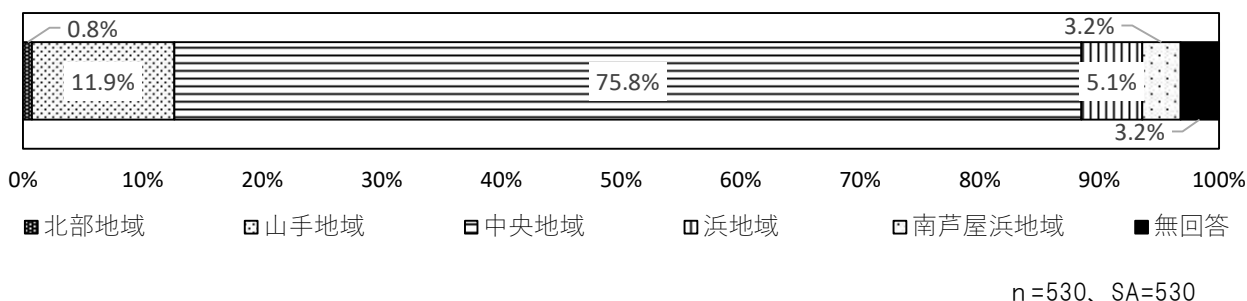
### ⑤ 入居する建物の所有形態

・「賃貸物件」が 53.0%、「自社物件」が 36.6%でした。



### ⑥ 所在地

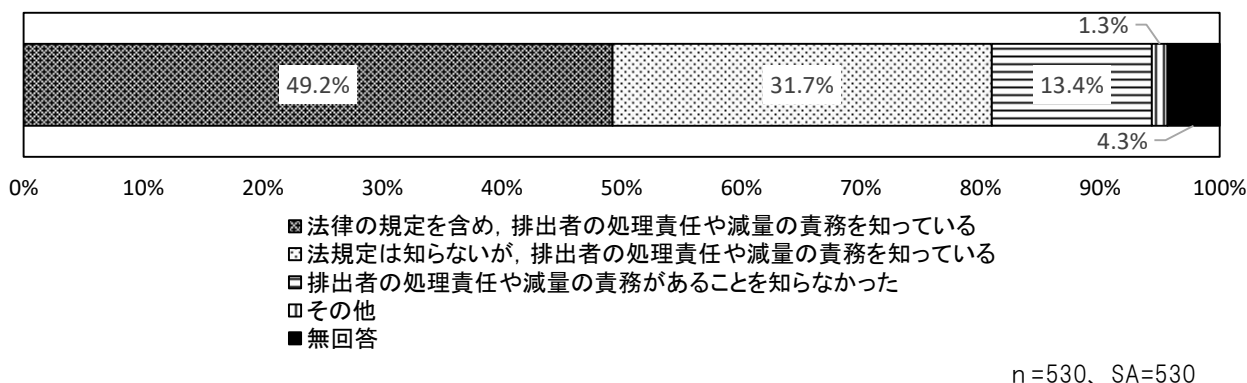
・「中央地域」が最も多く 75.8%、次に「山手地域」が 11.9%、「浜地域」が 5.1%となっています。



## (2) ごみの処理責任について

### ●事業者の自己処理責任や廃棄物の減量の責務などについて

・「法律の規定を含め、排出者の処理責任や減量の責務を知っている」が 49.2%と最も多い結果でした。次いで「法規定は知らないが、排出者の処理責任や減量の責務を知っている」が 31.7%、「排出者の処理責任や減量の責務があることを知らなかった」が 13.4%となっています。

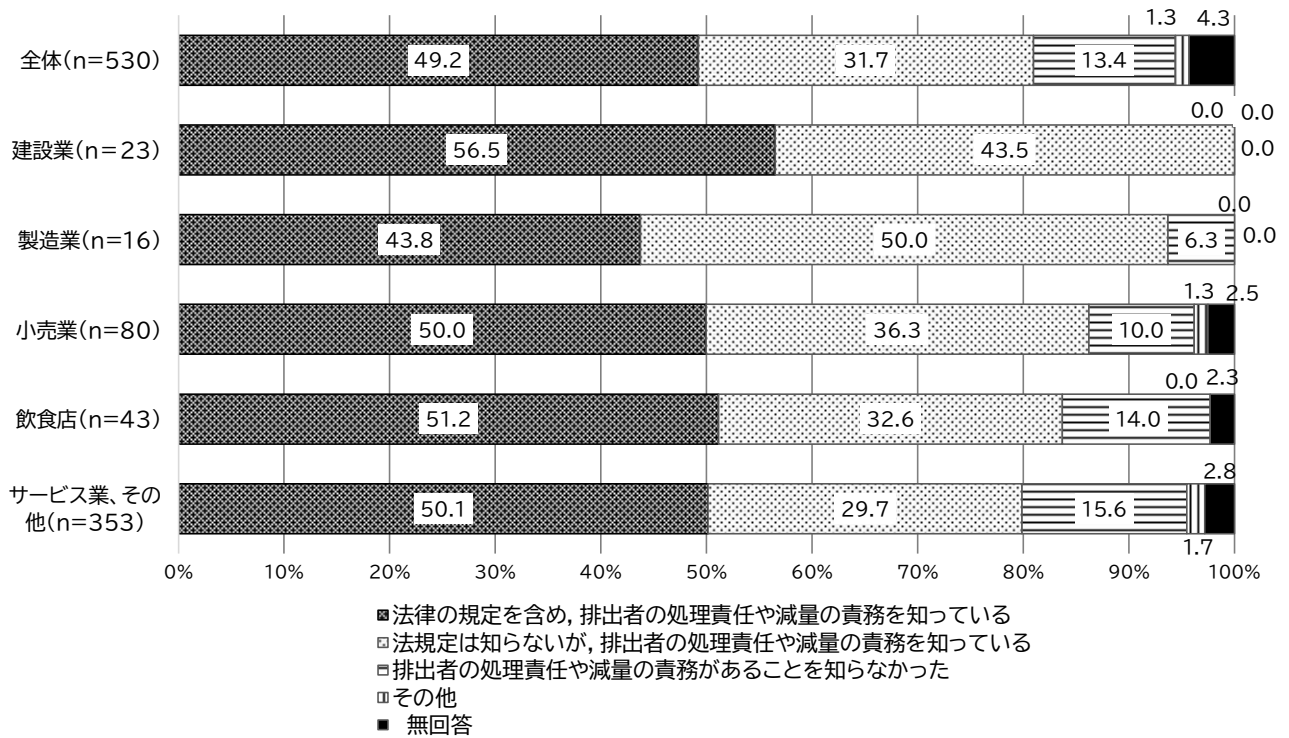


<その他の主な回答>

- ・個人物件、自宅
- ・マンション管理事務所
- ・市の施設 など

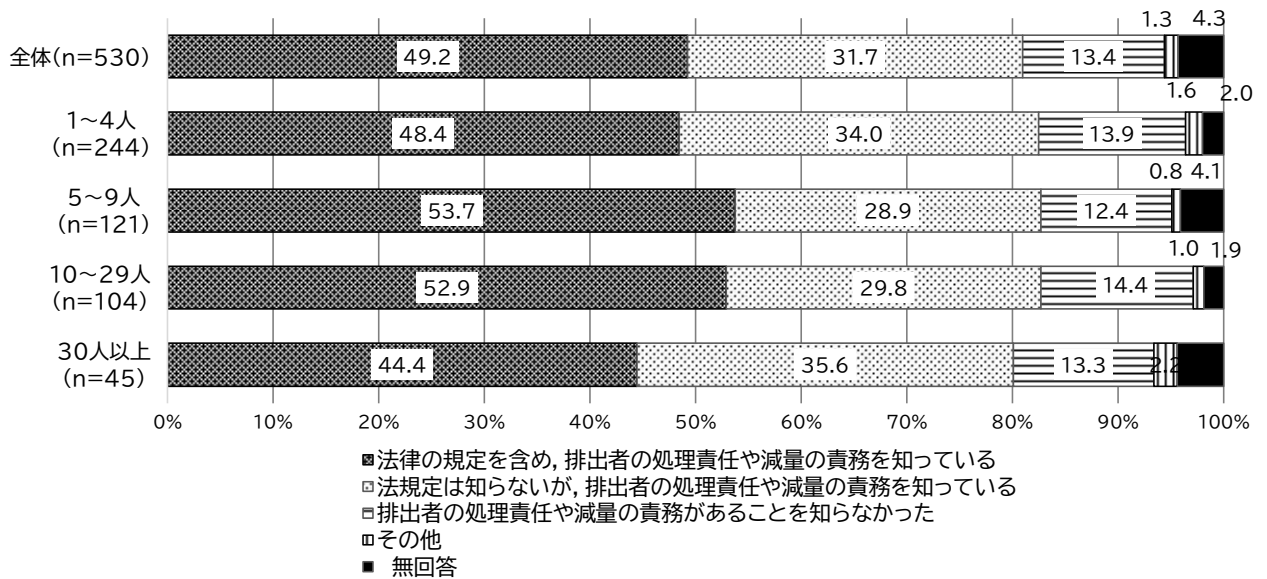
### 【業種別】

業種別では、いずれの業種も 80%以上が「排出者の処理責任や減量の責務を知っている」と回答しています。飲食店、サービス業、その他については 14.0%以上が、「排出者の処理責任や減量の責務があることを知らなかった」と回答しています。



### 【従業員規模別】

従業員規模別では、いずれの規模においても 80%以上が「排出者の処理責任や減量の責務を知っている」と回答しています。

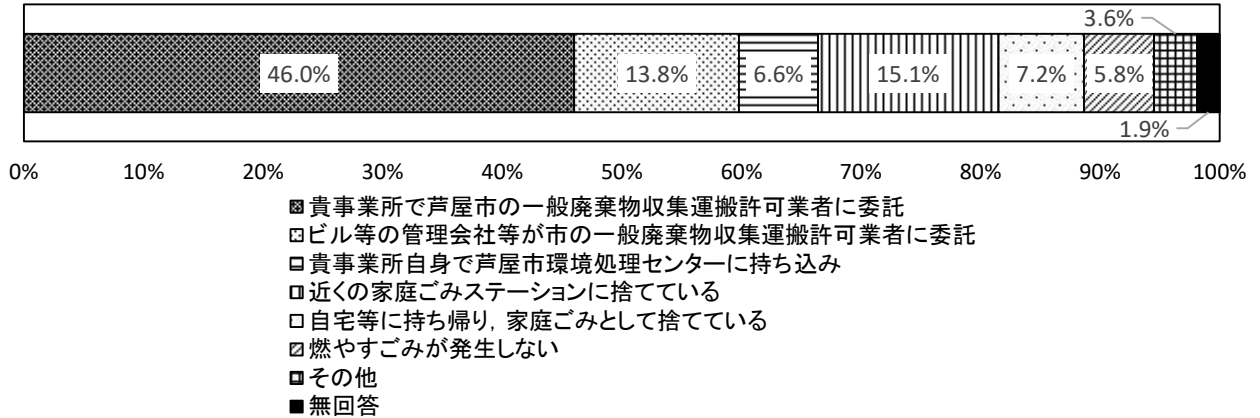


### (3) 燃やすごみについて

#### ① 燃やすごみの捨て方について

・「芦屋市の一般廃棄物収集運搬許可業者に委託」が46.0%と最も多い結果でした。次いで「近くの家庭ごみステーションに捨てている」が15.1%、「ビル等の管理会社等が市の一般廃棄物収集運搬許可業者に委託」が13.8%となっています。

・また、「その他」の回答としては「産業廃棄物運搬業者に処理を依頼」という回答も見られました。



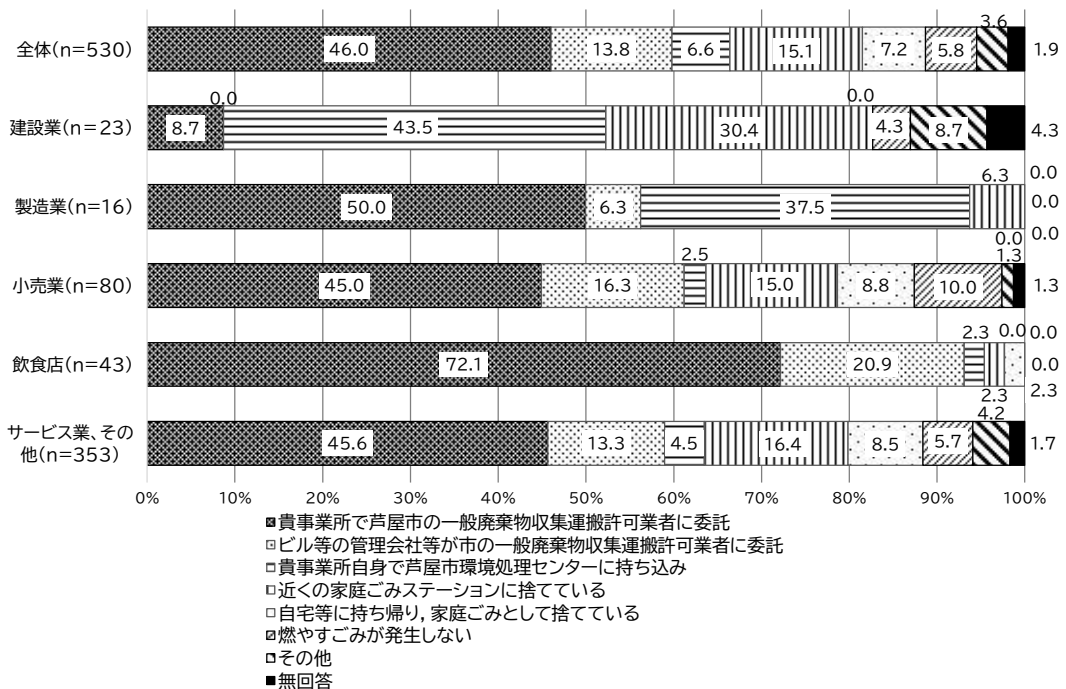
n=530、SA=530

#### <その他の主な回答>

- ・ 産業廃棄物運搬業者に処理を依頼
- ・ 守秘書類の為、専門業者に委託。
- ・ 本社に持ち帰り一括で委託業者に出す。 など

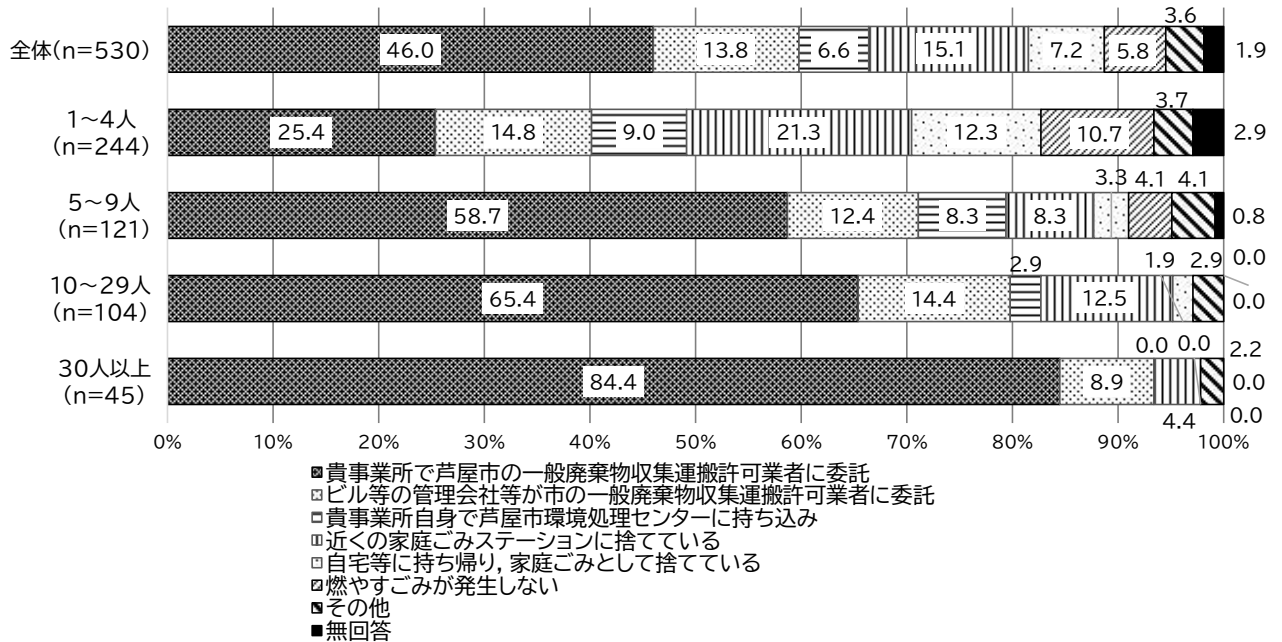
#### 【業種別】

業種別では、建設業を除くいずれの業種も45%以上が「芦屋市の一般廃棄物収集運搬許可業者に委託している」と回答しています。建設業、小売業、サービス業、その他については15.0%以上が、「近くの家庭ごみステーションに捨てている」と回答しています。



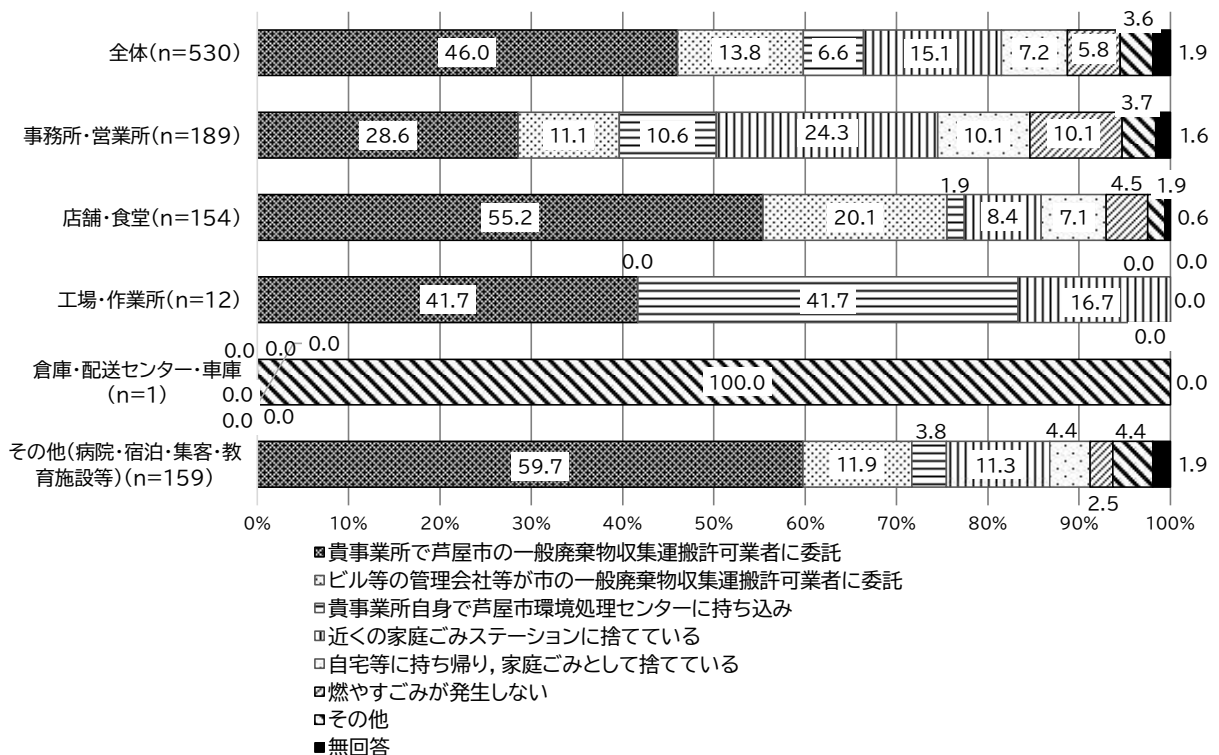
### 【従業員規模別】

従業員規模別では、「芦屋市の一般廃棄物収集運搬許可業者に委託している」と、「30人以上」で84.4%、「10～29人」で65.4%、「5～9人」で58.7%、「1～4人」で25.4%が回答しています。「1～4人」については、21.3%が「近くの家庭ごみステーションに捨てている」と回答しています。



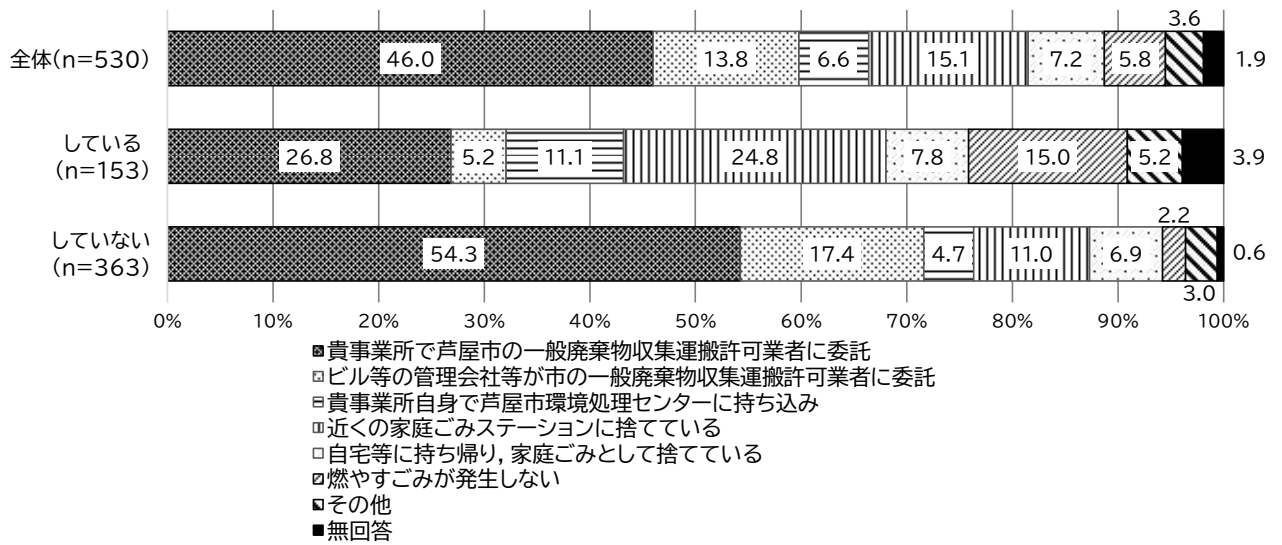
### 【事務所の形態別】

事務所の形態別では、「芦屋市の一般廃棄物収集運搬許可業者に委託している」は、「その他（病院・宿泊・集客・教育施設等）」で59.7%、「店舗・食堂」で55.2%、「工場・作業所」で41.7%、「事務所・営業所」で28.6%が回答しています。「事務所・営業所」については24.3%が、「近くの家庭ごみステーションに捨てている」と回答しています。



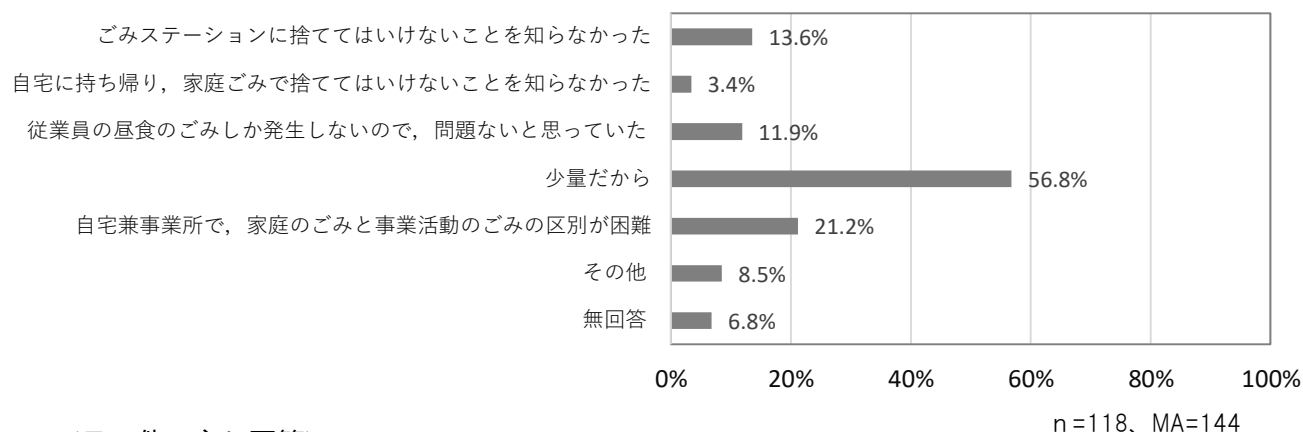
【家庭の住居との併設別】

家庭の住居との併設別では、「している」事業所においては24.8%が「近くの家庭ごみステーションに捨てている」と回答しています。また、「していない」事業所については54.3%が、「芦屋市の一般廃棄物収集運搬許可業者に委託している」と回答しています。



## ② ごみステーションに捨てている理由

- ・上記の設問において、「近くの家庭ごみステーションに捨てている」及び「自宅等に持ち帰り、家庭ごみとして捨てている」を選択された事業者に対して、ごみステーションに捨てている理由をお聞きしました。
- ・「少量だから」が56.8%と最も多い結果でした。次いで「自宅兼事業所で、家庭のごみと事業活動のごみの区別が困難」が21.2%、「ごみステーションに捨ててはいけないことを知らなかったから」が13.6%となっています。

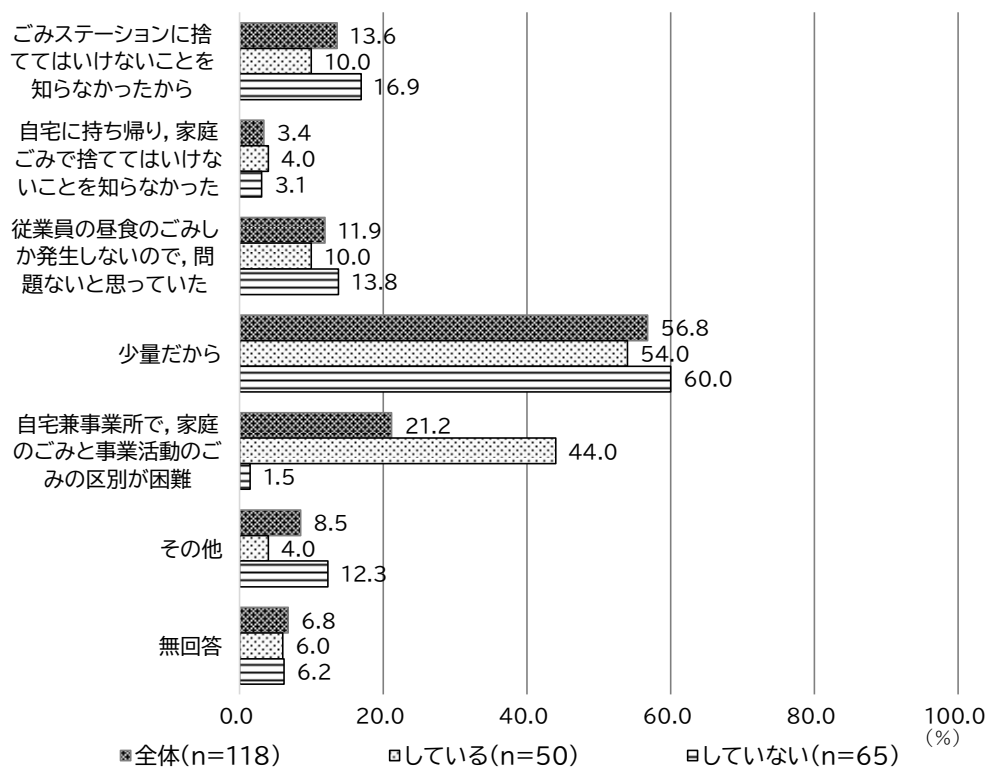


### <その他の主な回答>

- ・マンションから直接、許可業者に引取ってもらっている。
- ・主に紙類が多く、産業廃棄物は業者に委託している。 など

## 【家庭の住居との併設別】

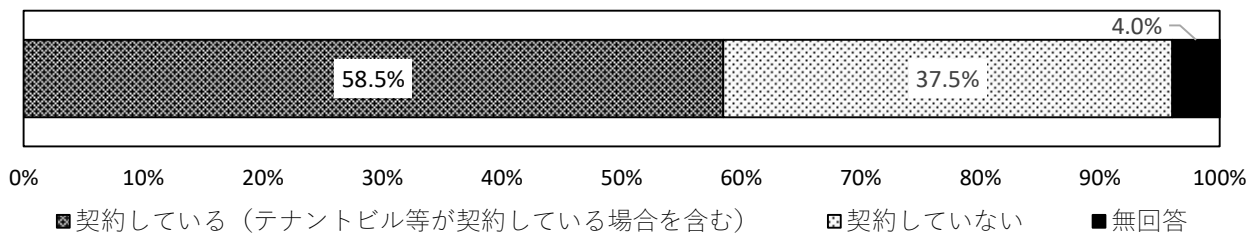
家庭の住居との併設別では、「している」事業所においては44.0%が「自宅兼事業所で、家庭のごみと事業活動のごみの区別が困難」と回答しています。また、「している」及び「していない」事業所については54.0%が、「少量だから」と回答しています。





### ③ 芦屋市一般廃棄物収集運搬許可業者との契約状況について

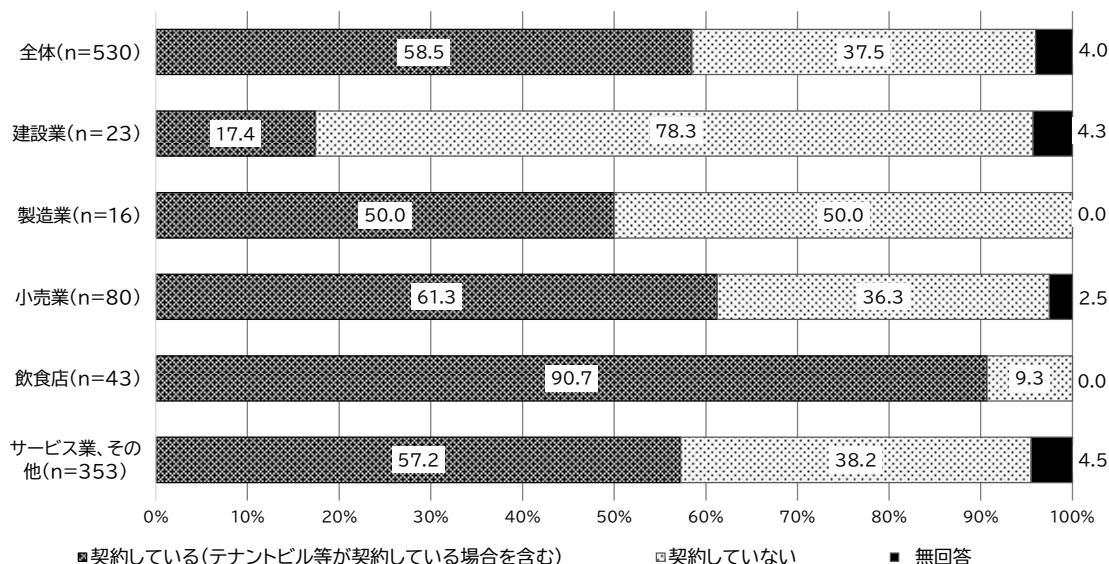
・「契約している（テナントビル等が契約している場合を含む）」が 58.5%、「契約していない」が 37.5%となっています。



n=530、SA=530

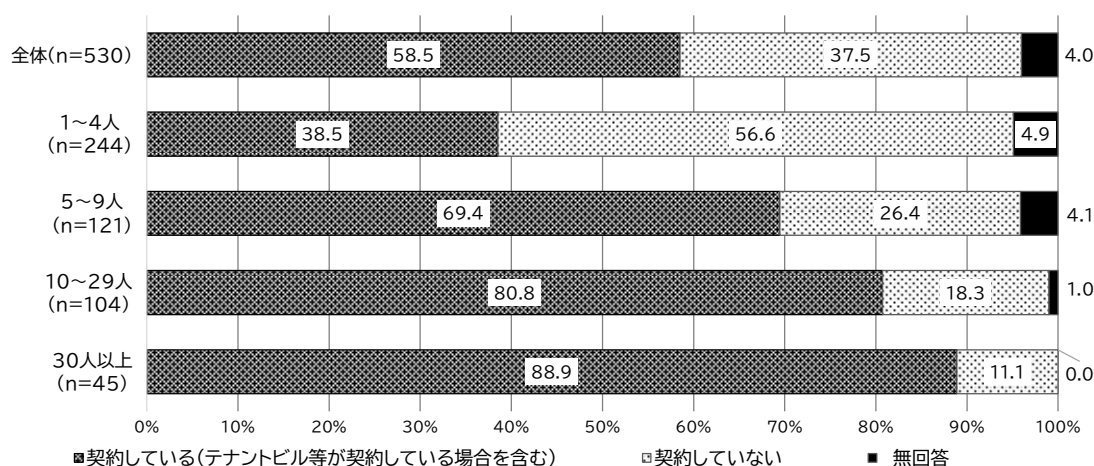
#### 【業種別】

業種別では、「契約している」は「飲食店」で 90.7%、「小売業」で 61.3%、「サービス業、その他」で 57.2%、「製造業」で 50.0%、「建設業」で 17.4%が回答しています。



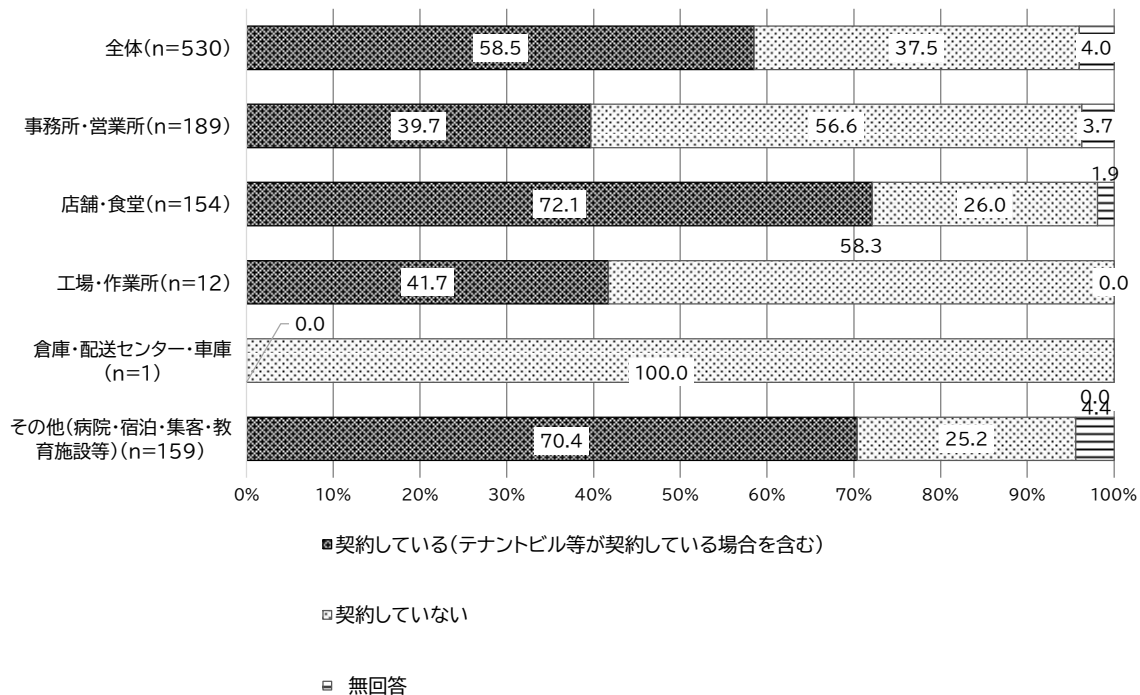
#### 【従業員規模別】

従業員規模別では、「契約している」に「30人以上」で 88.9%、「10~29人」で 80.8%、「5~9人」で 69.4%、「1~4人」で 38.5%が回答しています。「1~4人」については 56.6%が、「契約していない」と回答しており、従業員規模が大きいほど契約している傾向が見られます。



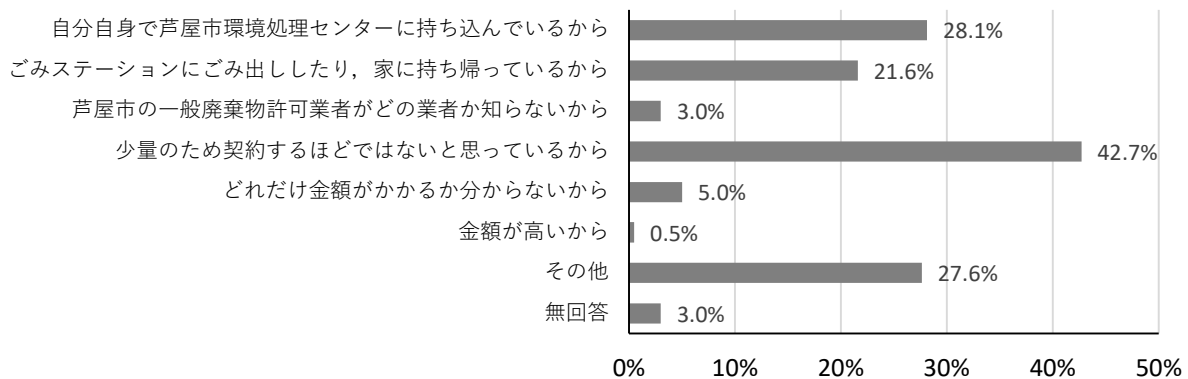
## 【事務所の形態別】

事務所の形態別では、「店舗・食堂」で72.1%、「その他（病院・宿泊・集客・教育施設等）」で70.4%、「工場・作業所」で41.7%、「事務所・営業所」で39.7%が「契約している」と回答しています。「倉庫・配送センター・車庫」は100.0%が「契約していない」と回答しています。



## ④ 芦屋市一般廃棄物収集運搬許可業者と契約していない理由について

- ・上記の設問において、「契約していない」を選択された事業者に対して、理由をお聞きしました。
- ・「少量のため契約するほどではないと思っているから」が42.7%と最も多い結果でした。次いで「自分自身で芦屋市環境処理センターに持ち込んでいるから」が28.1%、「ごみステーションにごみ出ししたり、家に持ち帰っているから」が21.6%となっています。
- ・また、「その他」の回答では「契約する必要があることを知らなかったから」などとなっています。



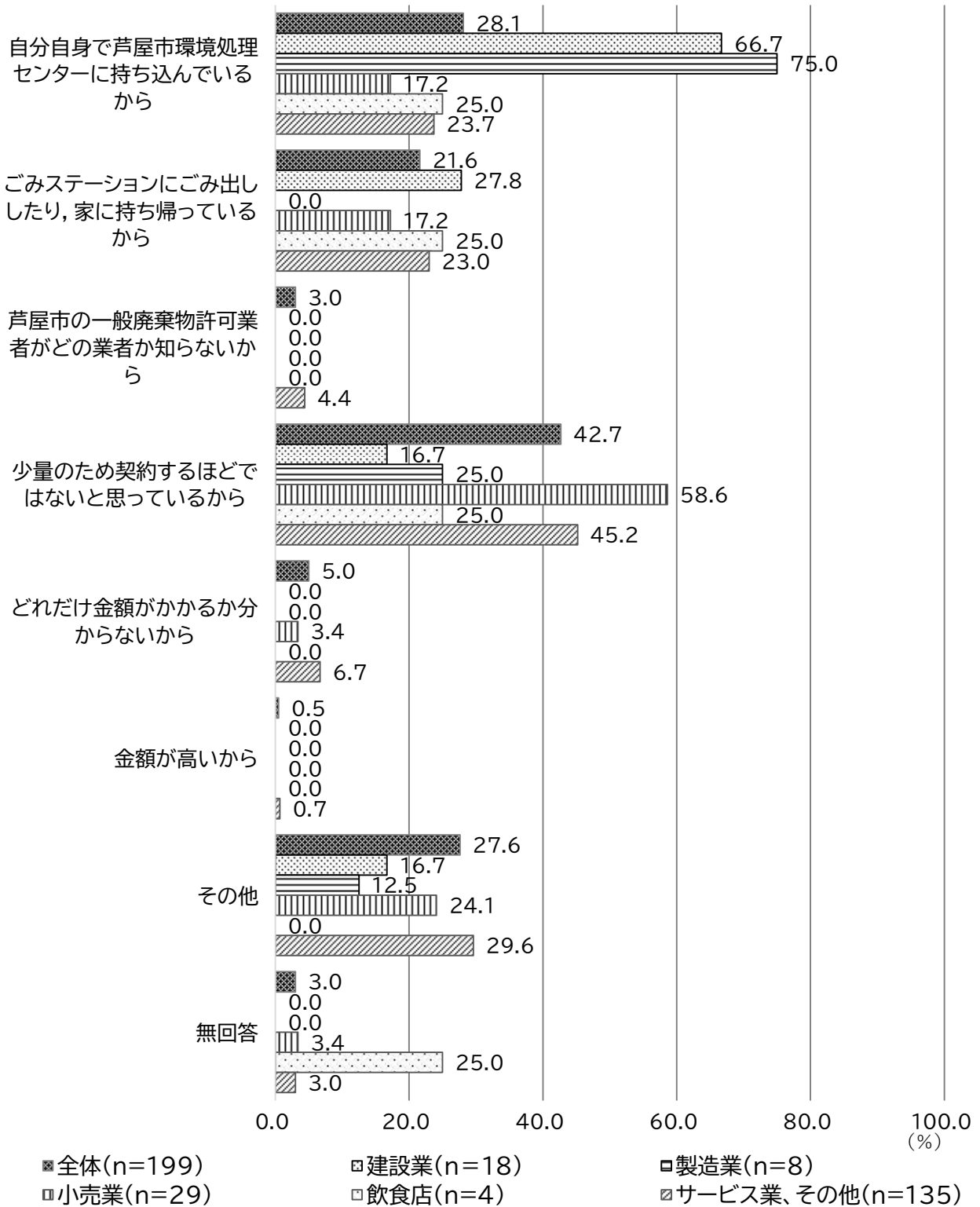
### <その他の主な回答>

n=199、MA=262

- ・ 契約する必要があることを知らなかったから。
- ・ 自社契約のメリットが大きいから。
- ・ ゴミが発生しない為
- ・ 個人情報の流出を防ぐため、専門の溶解業者に依頼している。
- ・ 医療廃棄物業者と契約しているから。 など

【業種別】

業種別では、「自分自身で芦屋市環境処理センターに持ち込んでいるから」が「製造業」で 75.0%、「建設業」で 66.7%となっています。「少量のため契約するほどではないと思っているから」が「小売業」で 58.6%、「サービス業、その他」で 45.2%が回答しています。

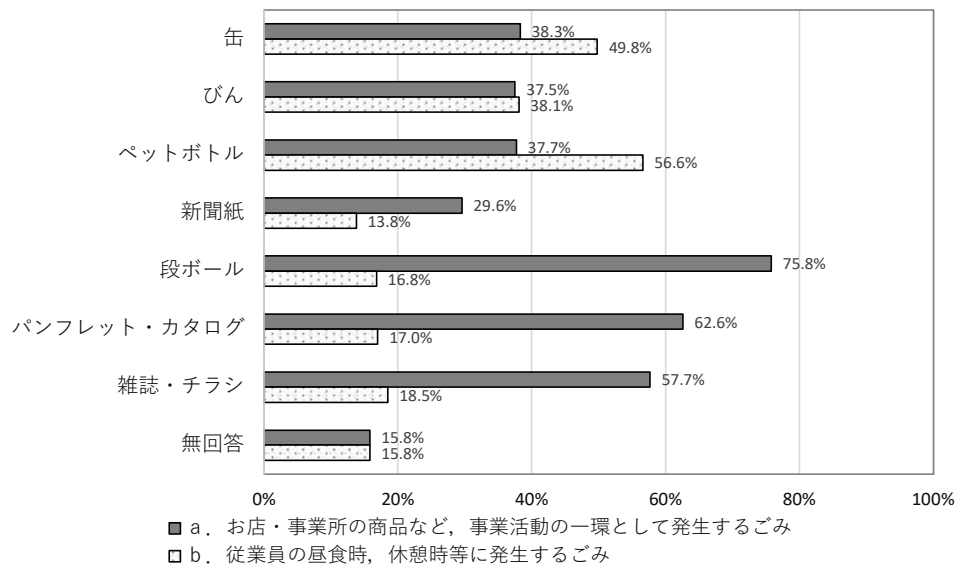


## (4) 燃やさないごみについて

### ① 資源ごみの発生の有無について

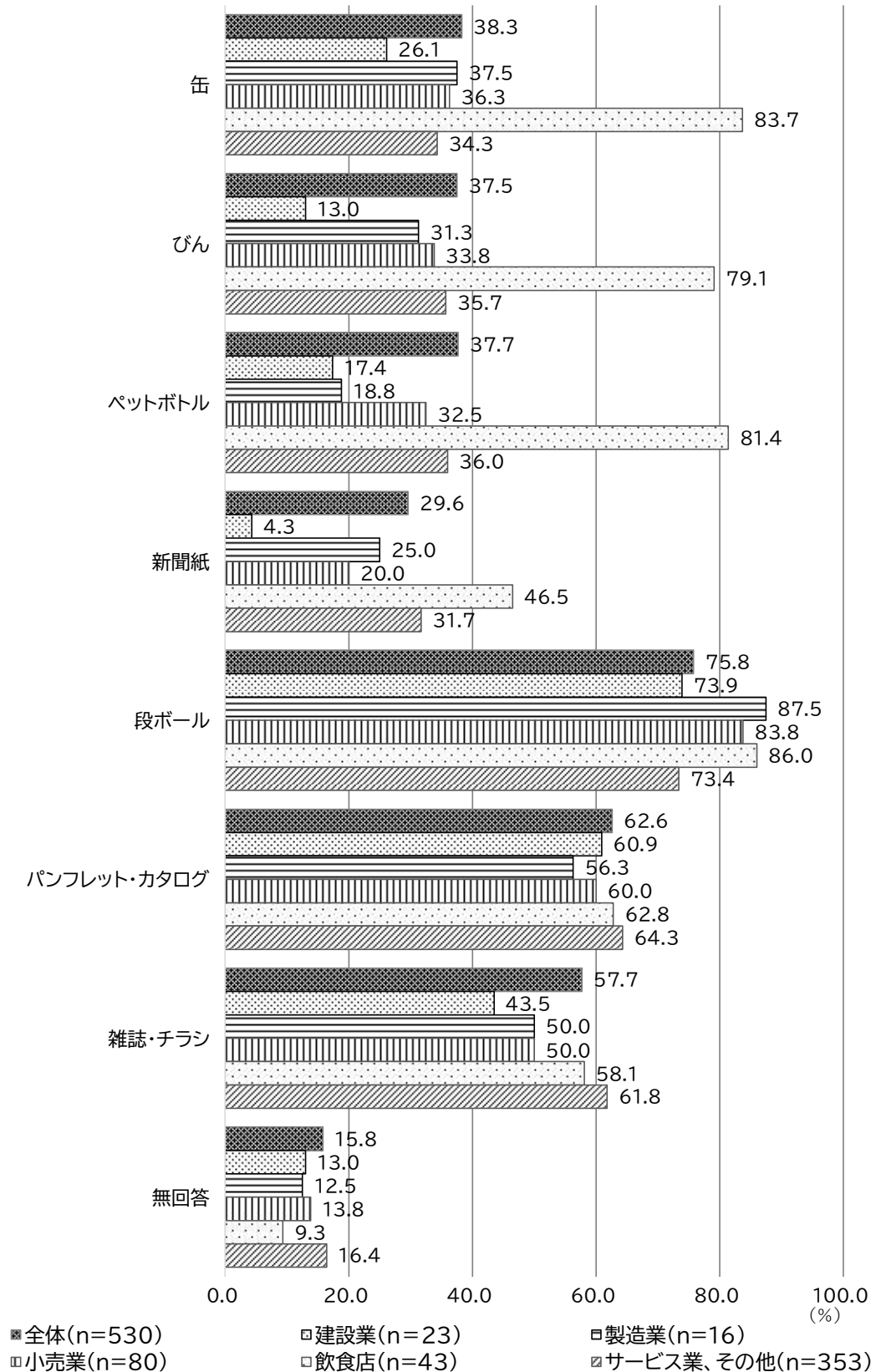
・「お店・事業所の商品など、事業活動の一環として発生するごみ」では、「段ボール」が75.8%と最も多い結果でした。次いで「パンフレット・カタログ」が62.6%、「雑誌・チラシ」が57.7%となっています。

・「従業員の昼食時、休憩時等に発生するごみ」では、「ペットボトル」が56.6%と最も多い結果でした。次いで「缶」が49.8%、「びん」が38.1%となっています。



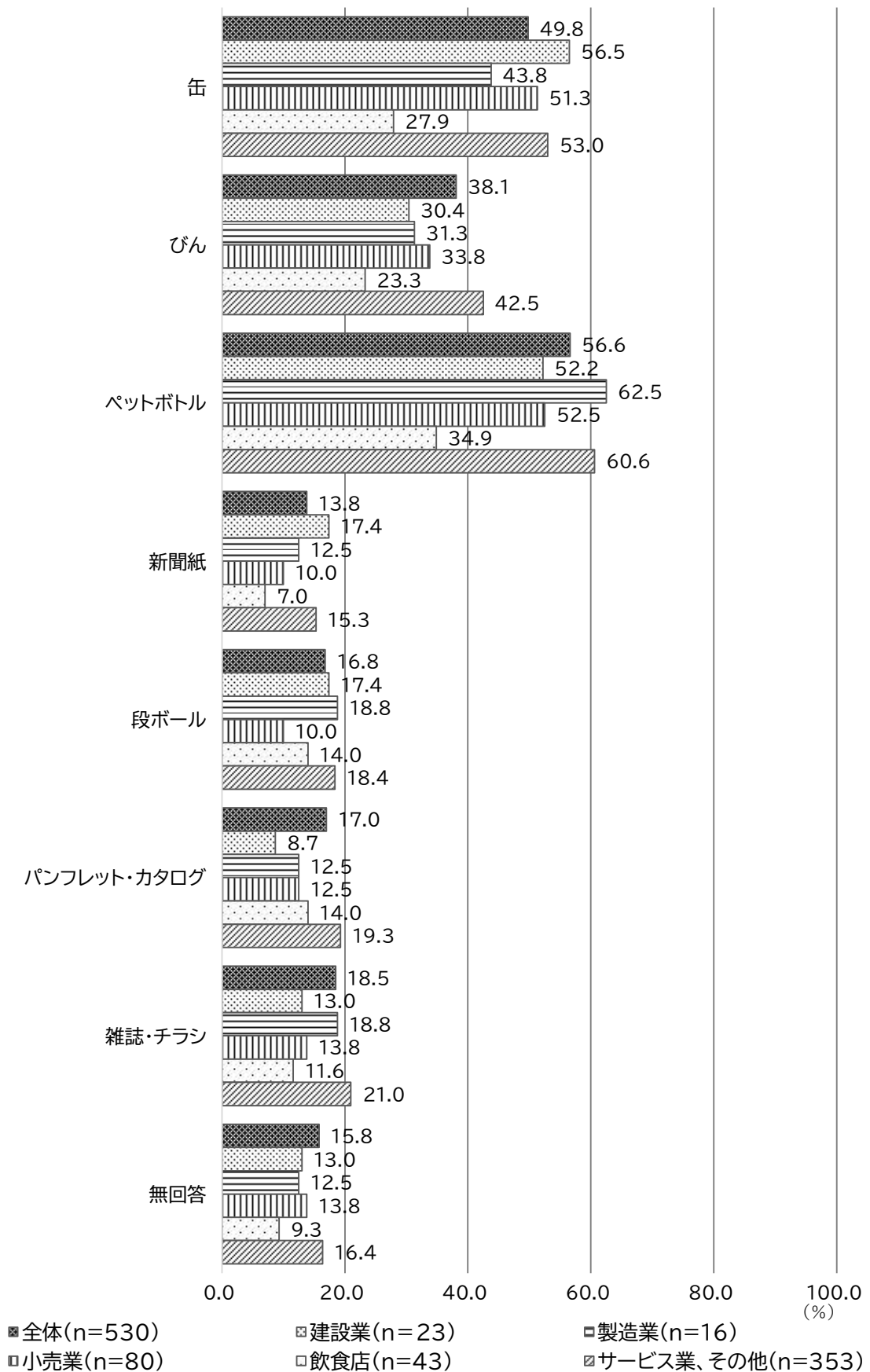
【業種別・a.商品など事業活動のごみ】

業種別では、いずれの業種も70%以上が「段ボール」が事業活動のごみとして「発生する」と回答しています。また、すべての業種で55%以上が「パンフレット・カタログ」が事業活動のごみとして「発生する」と回答しています。



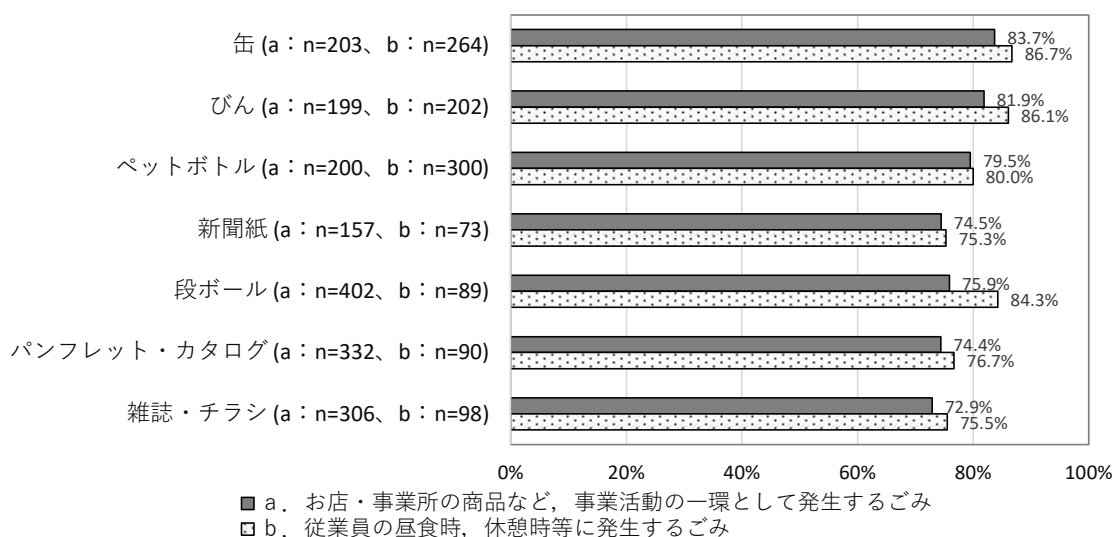
【業種別・b.従業員の昼食、休憩ごみ】

業種別では、飲食店を除くいずれの業種も50%以上が「ペットボトル」が従業員の昼食、休憩ごみとして「発生する」と回答しています。



## ②資源ごみの分別の可否について

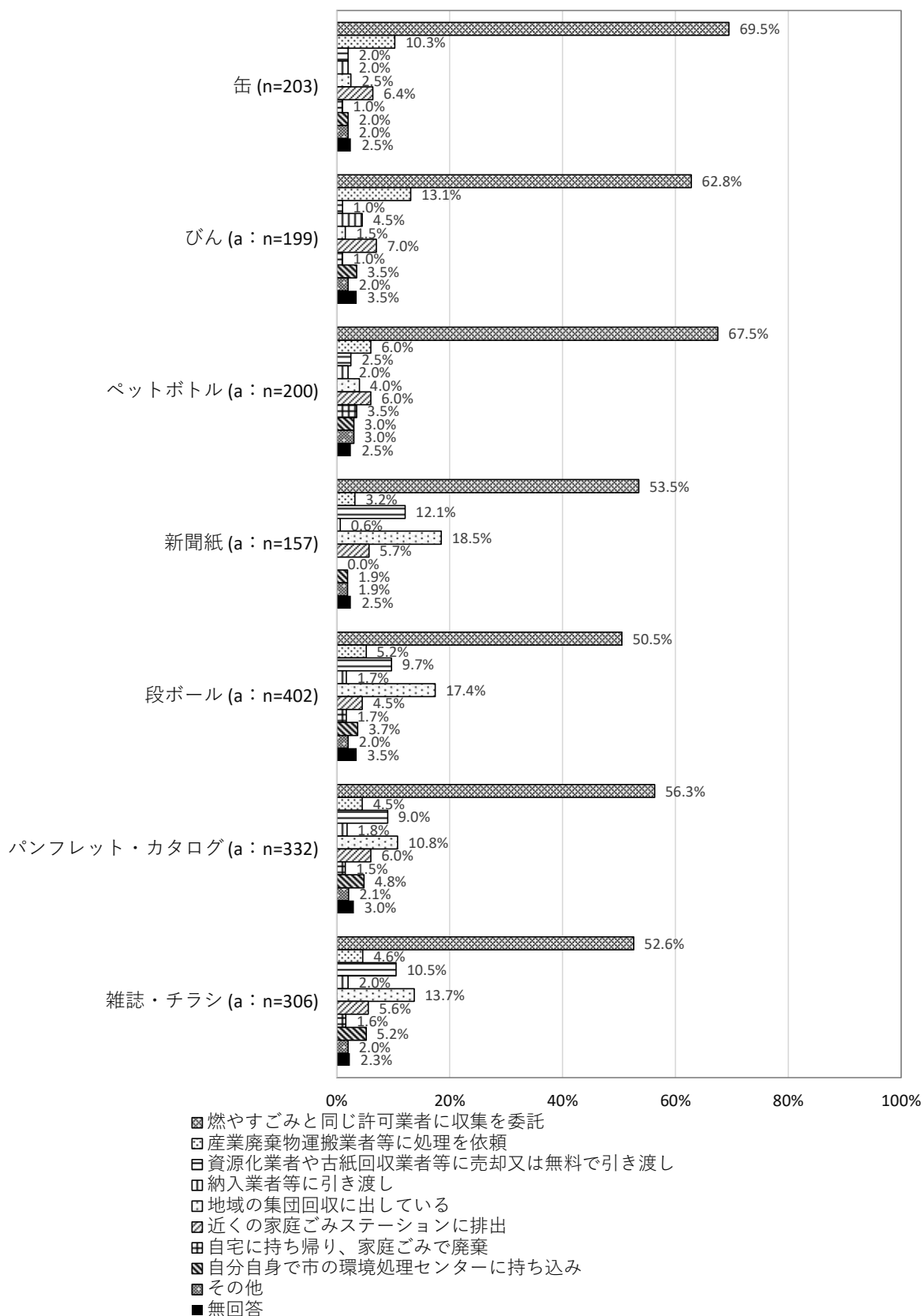
- ・上記の設問において、「有」を選択された事業者に対して、資源ごみの分別の可否についてお聞きしました。
- ・「お店・事業所の商品など、事業活動の一環として発生するごみ」では、「缶」が83.7%と最も多い結果でした。次いで「びん」が81.9%、「ペットボトル」が79.5%となっています。
- ・「従業員の昼食時、休憩時等に発生するごみ」では、「缶」が86.7%と最も多い結果でした。次いで「びん」が86.1%、「段ボール」が84.3%となっています。



n=530

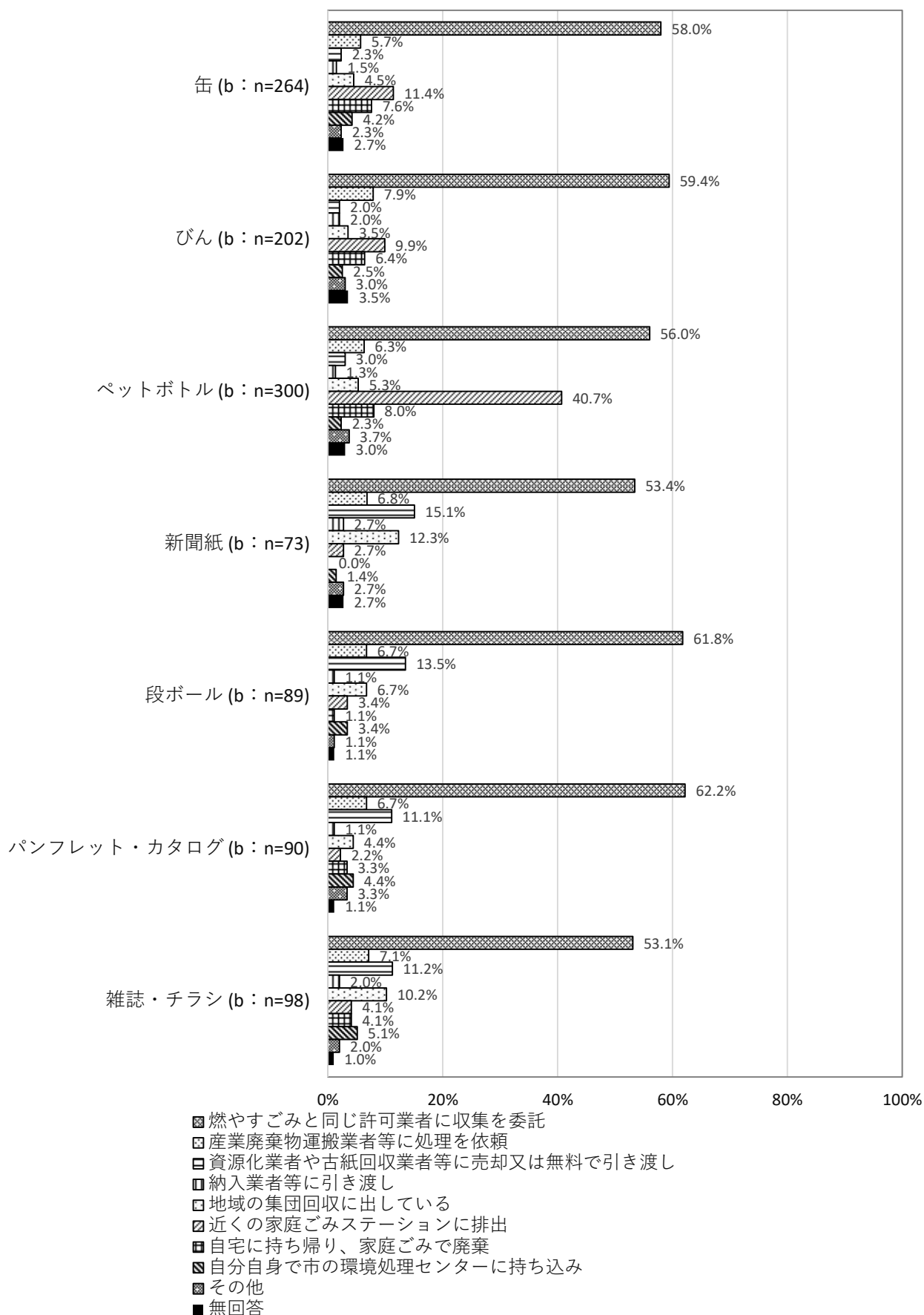
### ③資源ごみの出しの方法について

- ・①の設問において、「有」を選択された事業者に対して、資源ごみの出し方についてお聞きしました。
- ・「お店・事業所の商品など、事業活動の一環として発生するごみ」では、いずれの品目においても「燃やすごみと同じ許可業者に収集を委託」が最も多い結果でした。次いで「新聞紙」、「段ボール」など紙類については「地域の集団回収に出している」が多くなっています。





・「従業員の昼食時、休憩時等に発生するごみ」では、いずれの品目においても「燃やすごみと同じ許可業者に収集を委託」が最も多い結果でした。次いで「ペットボトル」や「缶」、「びん」については「近くの家庭ごみステーションに排出」が多く、「新聞紙」、「段ボール」など紙類については「資源化業者や古紙回収業者等に売却又は無料で引き渡し」が多くなっています。

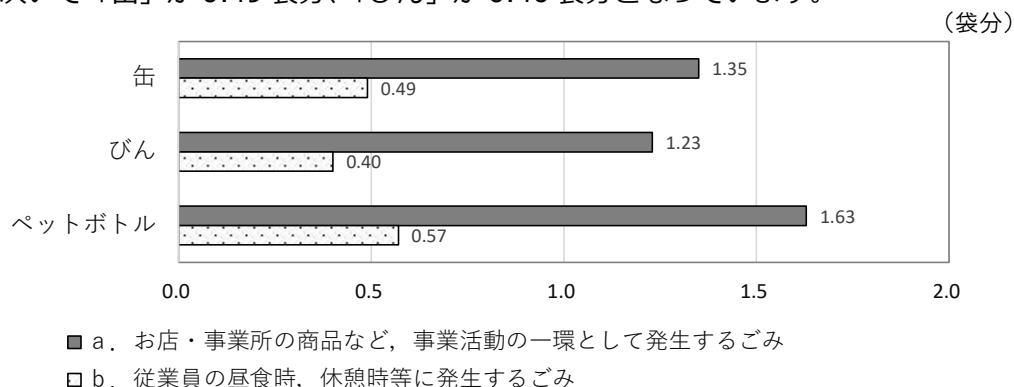


#### ④ 缶・ビン・ペットボトルのごみの量について

・1週間にどれぐらいの量のごみが排出されるか、ごみの量を回答いただきました。量は45リットルのごみ袋（普通のサイズのごみ袋）何袋分（例週に袋の半分程度でしたら、0.5袋分）と回答いただいています。

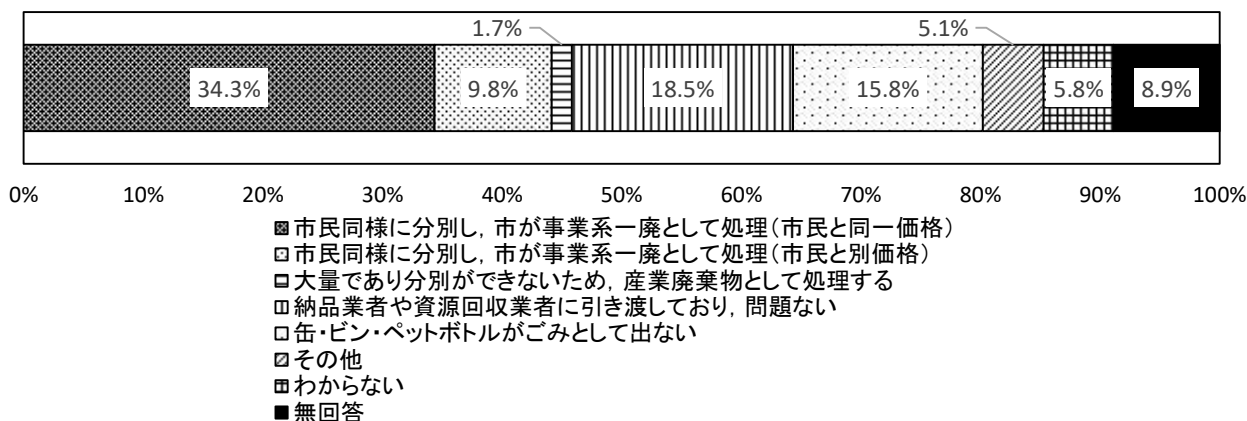
【回答事業所の平均（袋数）】

- ・「お店・事業所の商品など、事業活動の一環として発生するごみ」では、「ペットボトル」が1.63袋分と最も多い結果でした。次いで「缶」が1.35袋分、「びん」が1.23袋分となっています。
- ・「従業員の昼食時、休憩時等に発生するごみ」では、「ペットボトル」が0.57袋分と最も多い結果でした。次いで「缶」が0.49袋分、「びん」が0.40袋分となっています。



#### ⑤ 今後の缶・ビン・ペットボトルのごみ捨て方法について、最も適切だと思うもの

- ・「市民同様に分別し、市が事業系一廃として処理（市民と同一価格）」が34.3%と最も多い結果でした。次いで「納品業者や資源回収業者に引き渡しており、問題ない」が18.5%、「缶・ビン・ペットボトルがごみとして出ない」が15.8%となっています。
- ・また、「その他」の回答では「コロナの状況もあり、お客様の持込みをなくしたい」や「自分が出したごみは自分で持ち帰っていただき家で分別して捨てる」なども見られました。



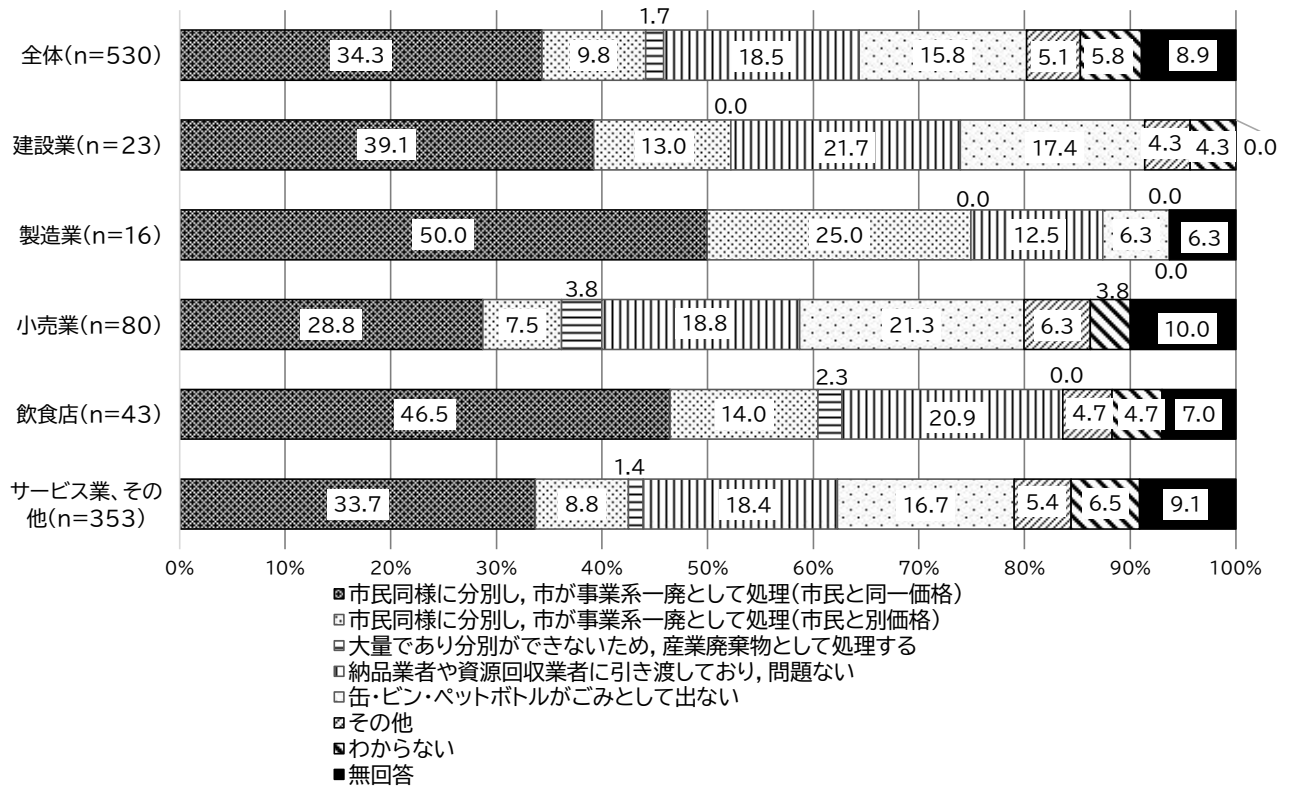
<その他の主な回答>

n=530、SA=530

- ・少量なので通常の資源ゴミに出したい（市民同様に分別して）。
- ・少量なので持ち帰ります。
- ・コロナの状況もあり、お客様の持込みをなくしたい。
- ・昼食のお弁当箱も出ない日もあるので、自分が出したごみは自分で持ち帰っていただき家で分別して捨てていただきます。
- ・缶は地域の資金源になっているので、地域の集団回収でも良い。 など

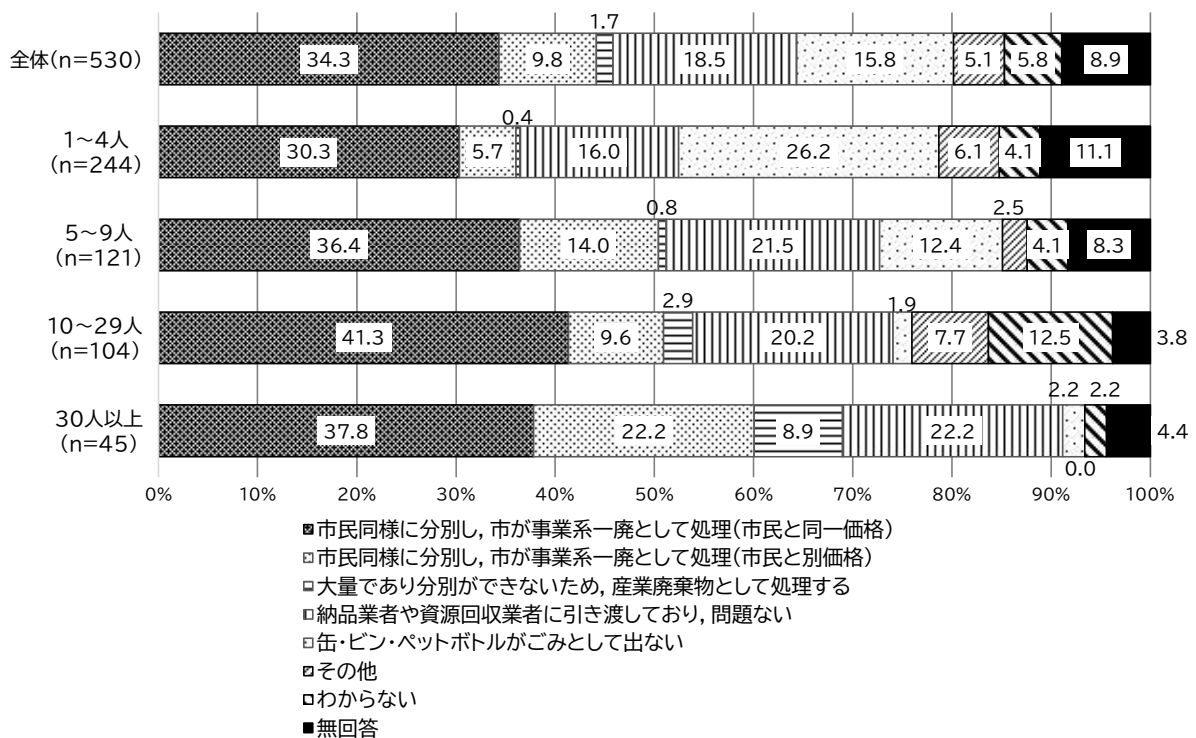
### 【業種別】

業種別では、いずれの業種も約 30～50%が「市民同様に分別し、市が事業系一廃として処理（市民と同一価格）」と回答しています。



### 【従業員規模別】

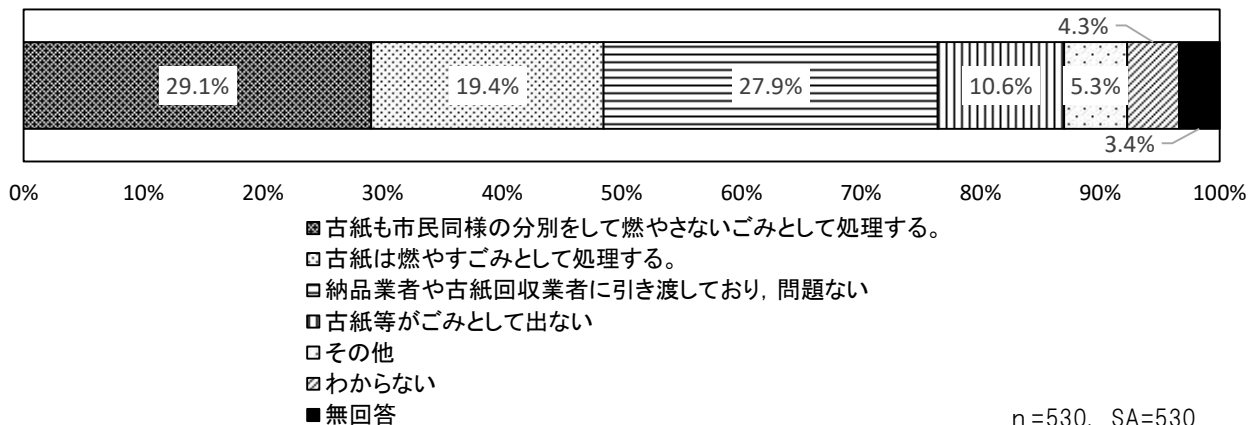
従業員規模別では、いずれの規模においても 30～40%が「市民同様に分別し、市が事業系一廃として処理（市民と同一価格）」と回答しています。「1～4人」については 26.2%が、「缶・ビン・ペットボトルがごみとして出ない」と回答しています。



### ⑥ 古紙のごみ出しについて、最も適切だと思う方法

・「古紙も市民同様の分別をして燃やさないごみとして処理する」が 29.1%と最も多い結果でした。次いで「納品業者や古紙回収業者に引き渡しており、問題ない」が 27.9%、「古紙は燃やすごみとして処理する」が 19.4%となっています。

・また、「その他」の回答では「地域の集団回収に出している」が多く見られます。

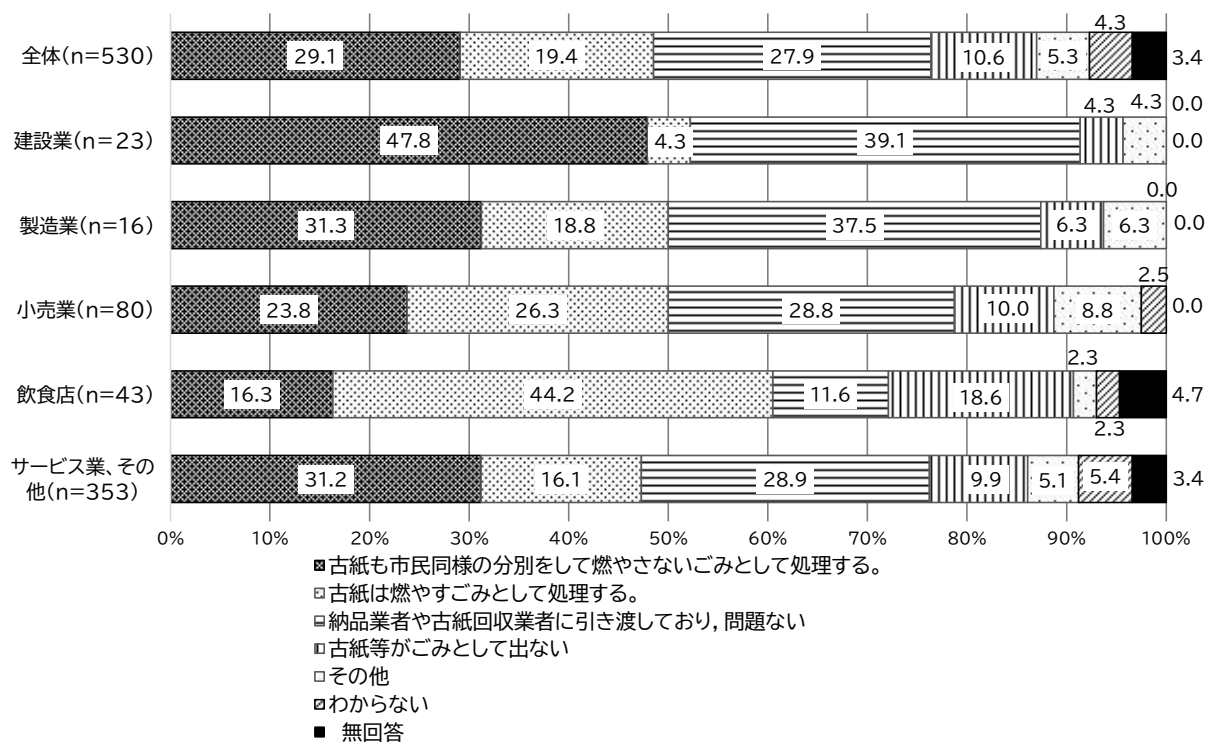


<その他の主な回答>

- ・地域の集団回収に出している。
- ・新聞等チラシ用紙も梱包に再利用しています。 など

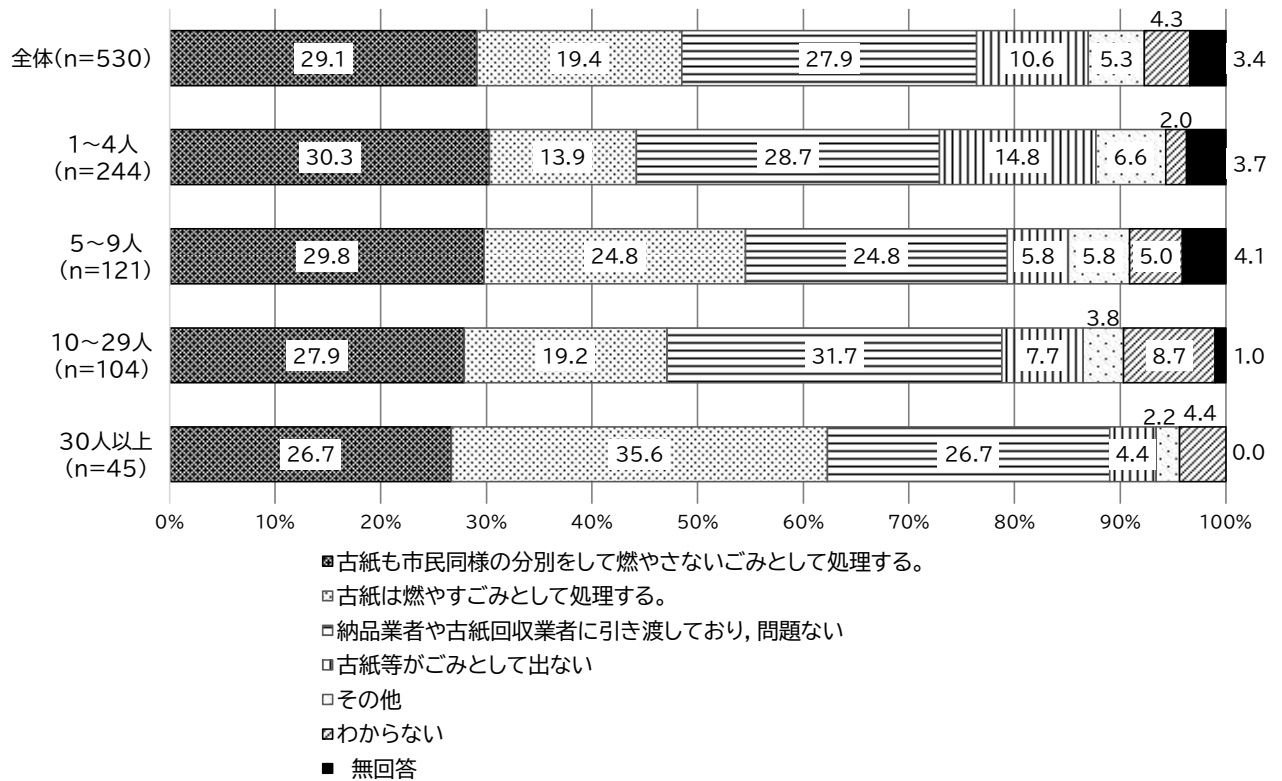
### 【業種別】

業種別では、飲食店、小売業を除くいずれの業種も 30~50%が「古紙も市民同様の分別をして燃やさないごみとして処理する」と回答しています。飲食店では 44.2%が「古紙は燃やすごみとして処理する」と回答しています。



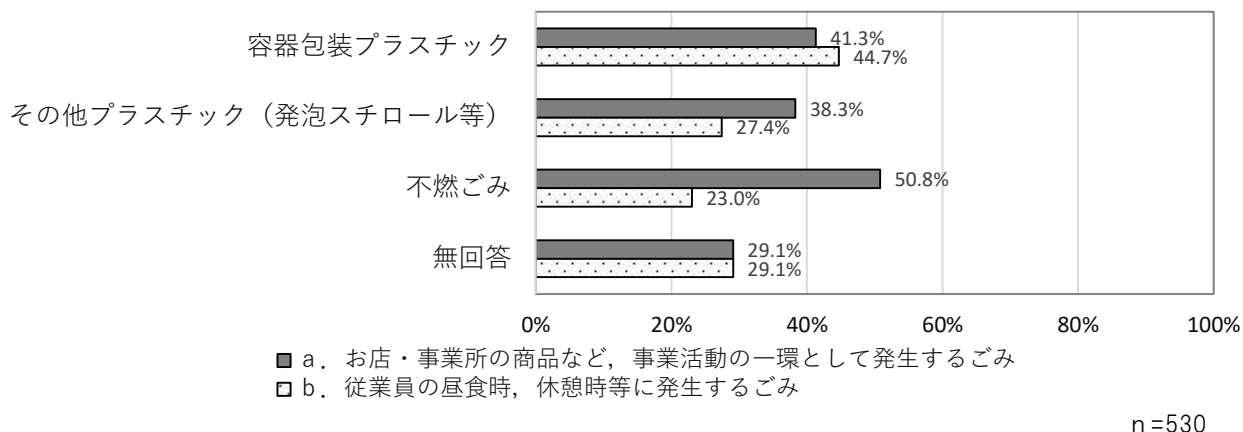
【従業員規模別】

従業員規模別では、いずれの規模においても 30%前後が「古紙も市民同様の分別をして燃やさないごみとして処理する」と回答しています。また、いずれの規模においても 30%前後が、「納品業者や古紙回収業者に引き渡しており、問題ない」と回答しています。



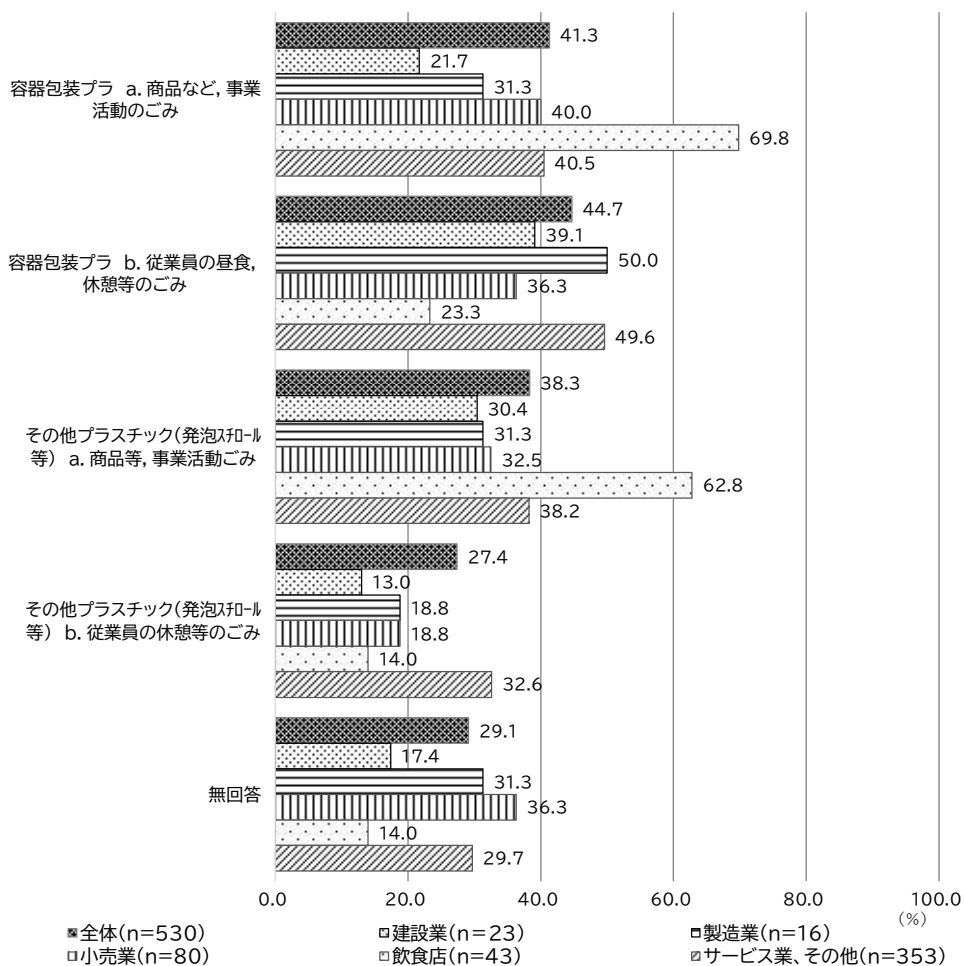
### ⑦ プラスチックごみと不燃ごみの発生の有無について

- ・「お店・事業所の商品など、事業活動の一環として発生するごみ」では、「不燃ごみ」が50.8%と最も多い結果でした。次いで「容器包装プラスチック」が41.3%、「その他プラスチック（発泡スチロール等）」が38.3%となっています。
- ・「従業員の昼食時、休憩時等に発生するごみ」では、「容器包装プラスチック」が44.7%と最も多い結果でした。次いで「その他プラスチック（発泡スチロール等）」が27.4%、「不燃ごみ」が23.0%となっています。



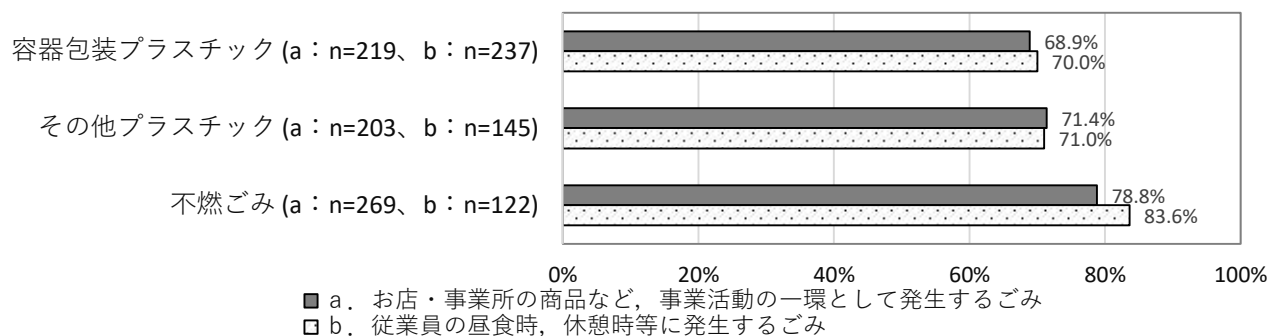
### 【業種別・プラスチックごみの発生の有無】

業種別では、飲食店では「容器包装プラ a. 商品など、事業活動のごみ」及び「その他プラスチック（発泡スチロール等） a. 商品等、事業活動ごみ」が60%以上が「発生する」と回答しています。



### ⑧ プラスチックごみと不燃ごみの分別の可否について

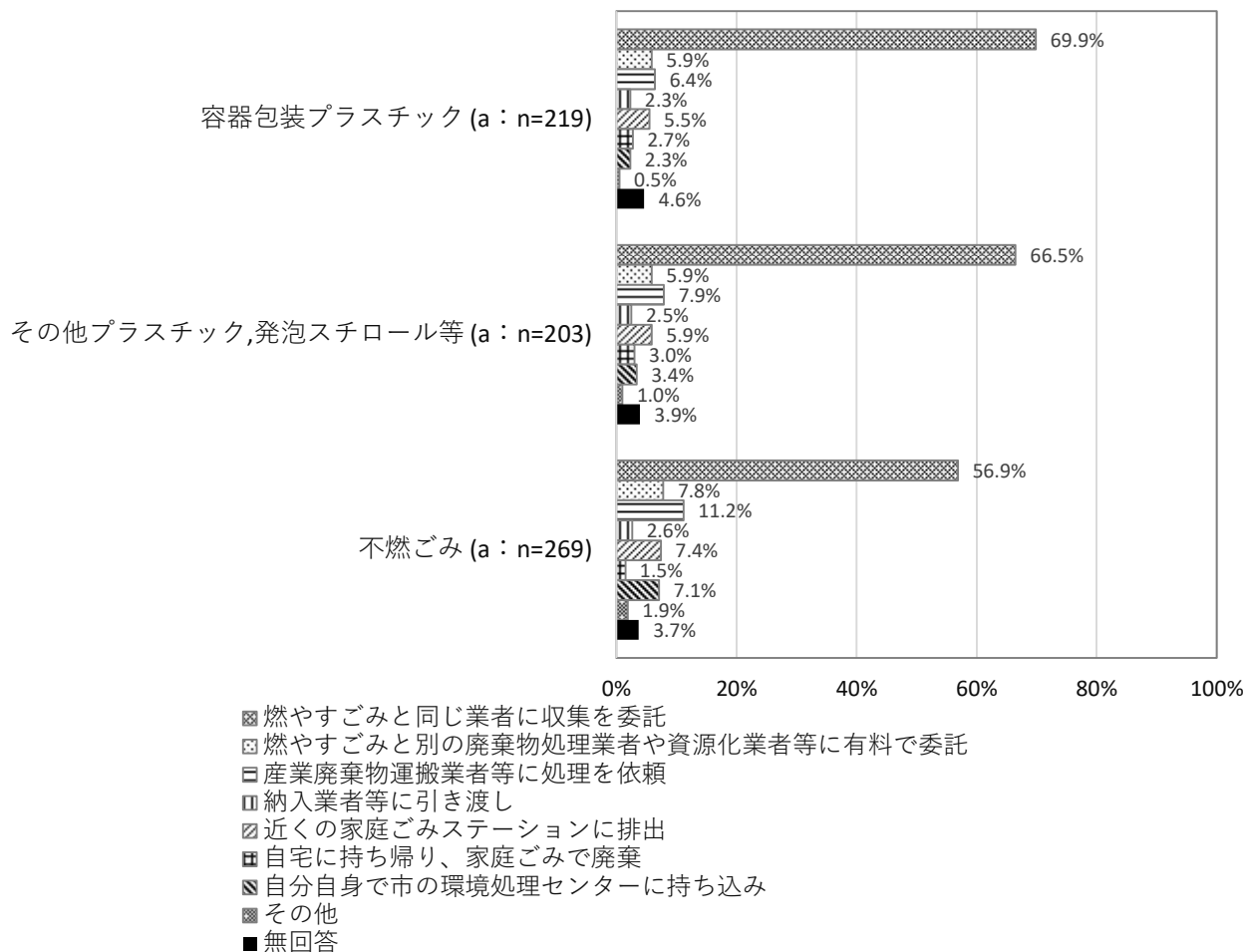
- ・上記の設問において、「有」を選択された事業者に対して、プラスチックごみと不燃ごみの分別の可否についてお聞きしました。
- ・「お店・事業所の商品など、事業活動の一環として発生するごみ」では、「不燃ごみ」が78.8%と最も多い結果でした。次いで「その他プラスチック（発泡スチロール等）」が71.4%、「容器包装プラスチック」が68.9%となっています。
- ・「従業員の昼食時、休憩時等に発生するごみ」では、「不燃ごみ」が83.6%と最も多い結果でした。次いで「その他プラスチック（発泡スチロール等）」が71.0%、「容器包装プラスチック」が70.0%となっています。



n = 530

### ⑨ プラスチックごみと不燃ごみのごみ出しの方法について

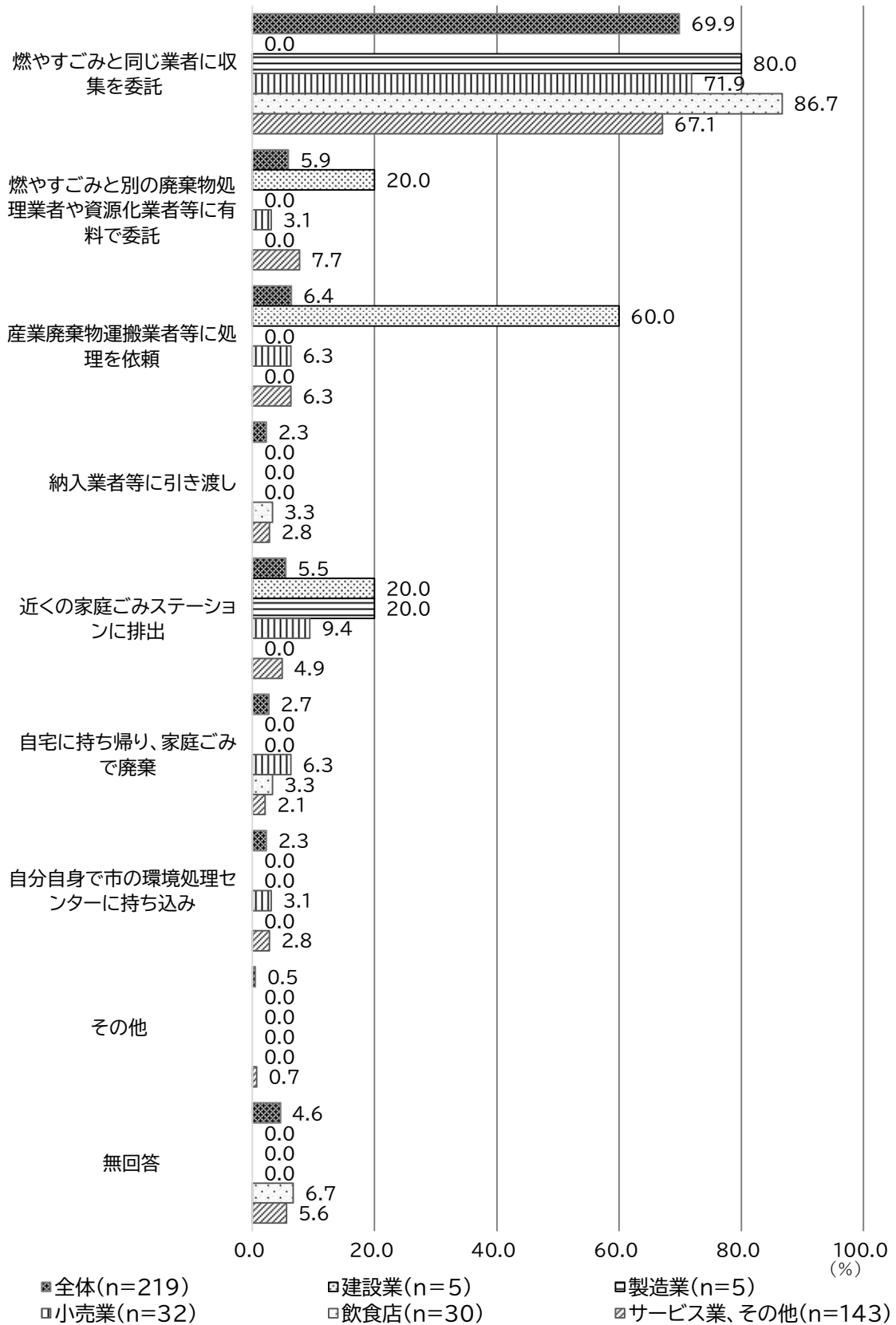
- ・⑦の設問において、「有」を選択された事業者に対して、プラスチックごみと不燃ごみのごみの出し方についてお聞きしました。
- ・「お店・事業所の商品など、事業活動の一環として発生するごみ」では、いずれの品目においても「燃やすごみと同じ許可業者に収集を委託」が最も多い結果でした。次いで「産業廃棄物運搬業者等に処理を依頼」が多くなっています。





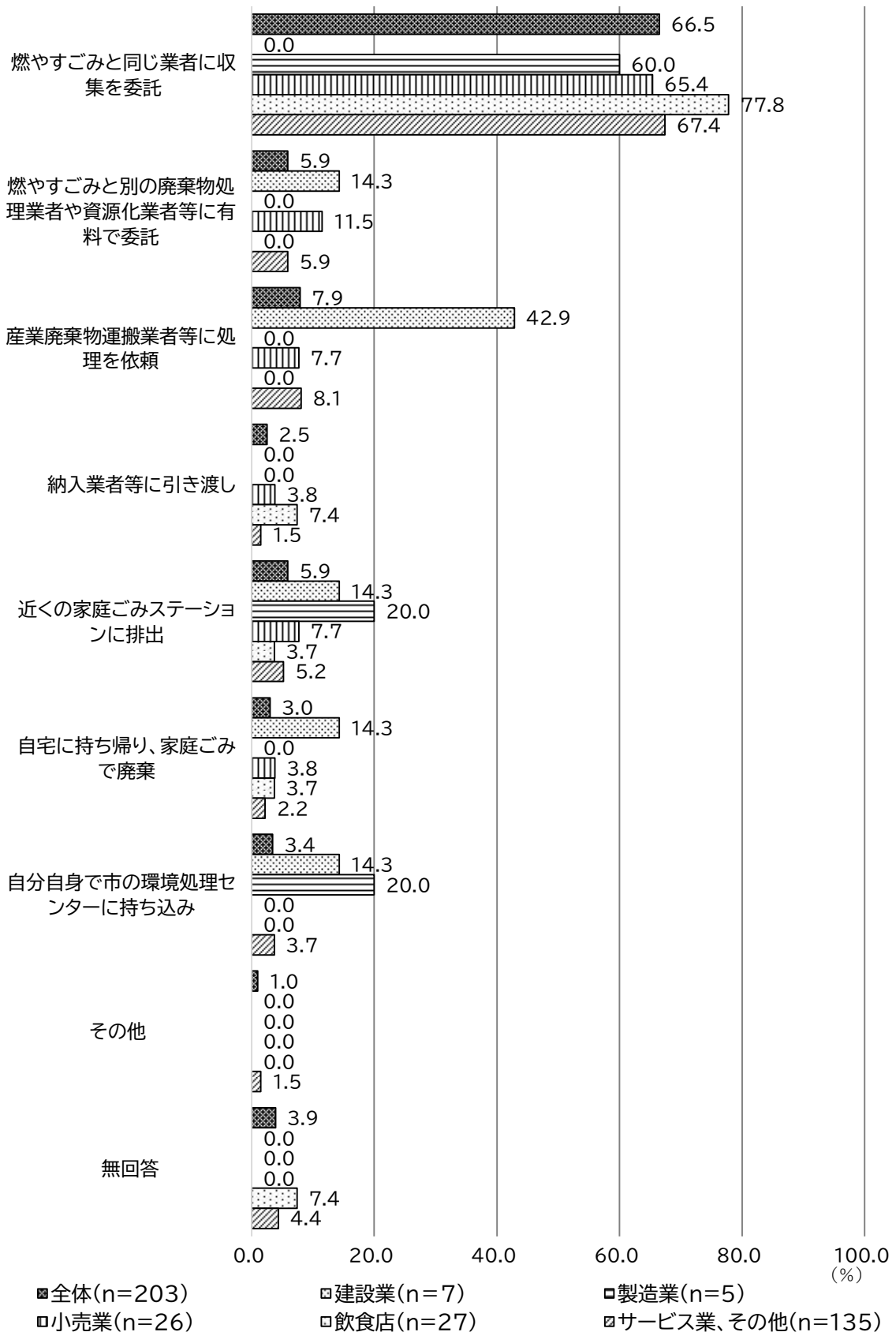
【業種別・容器包装プラ a. 商品など、事業活動のごみ】

業種別では、建設業を除くいずれの業種も65%以上が「燃やすごみと同じ業者に収集を委託」と回答しています。

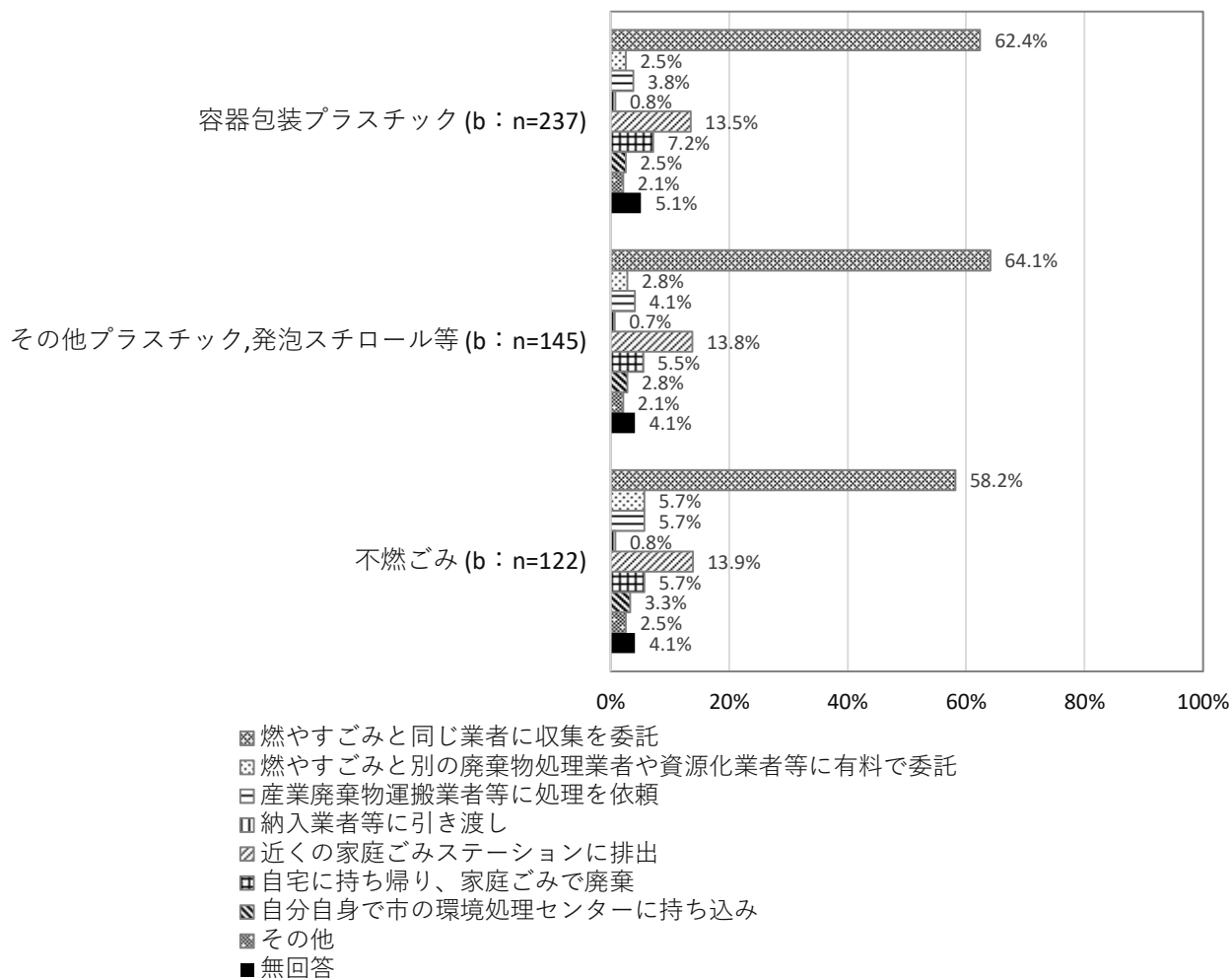


【業種別・その他プラ（発泡スチロール等） a. 商品など、事業活動のごみ】

業種別では、建設業を除くいずれの業種も60%以上が「燃やすごみと同じ業者に収集を委託」と回答しています。

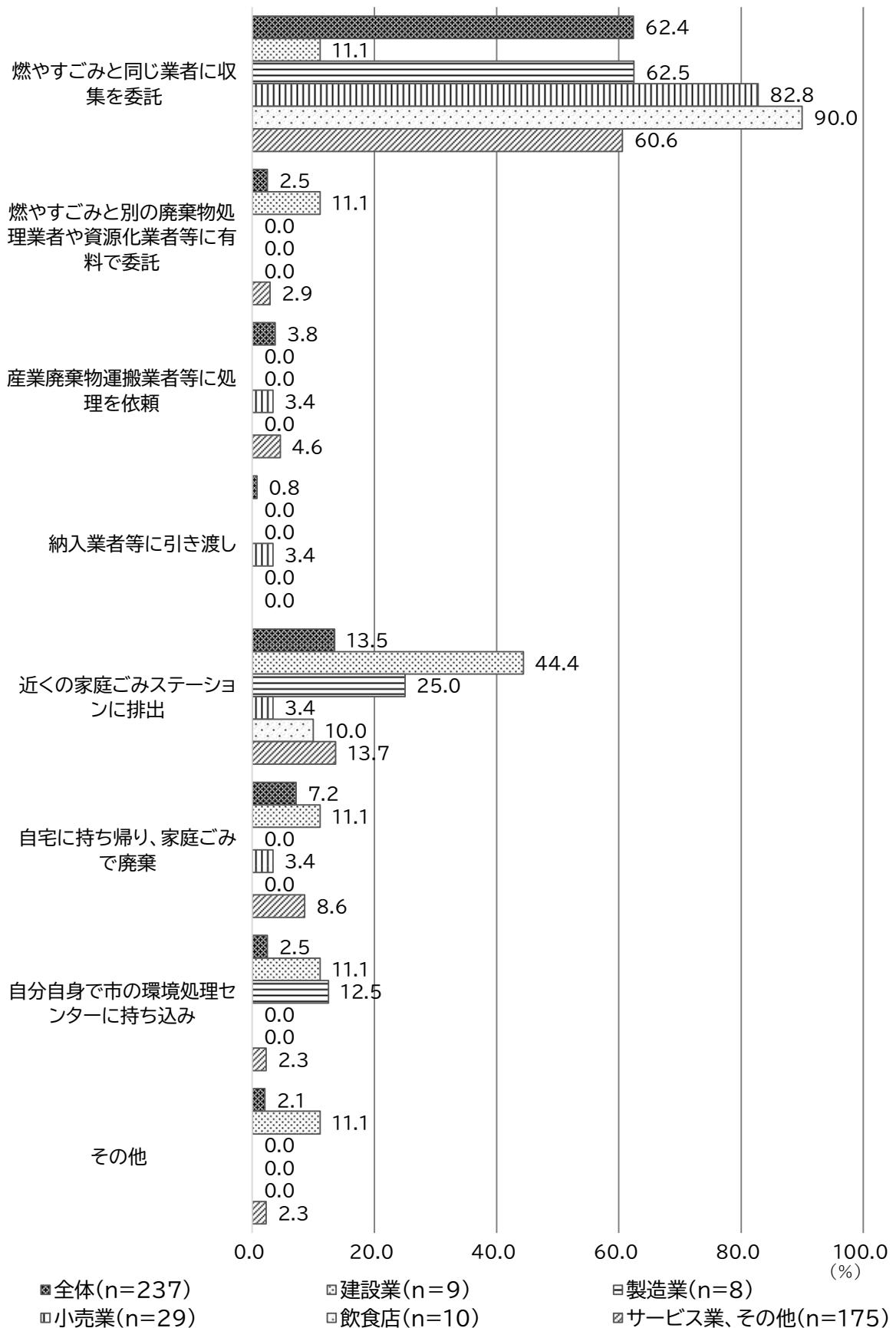


・「従業員の昼食時、休憩時等に発生するごみ」では、いずれの品目においても「燃やすごみと同じ許可業者に収集を委託」が最も多い結果でした。次いで「近くの家庭ごみステーションに排出」が多くなっています。



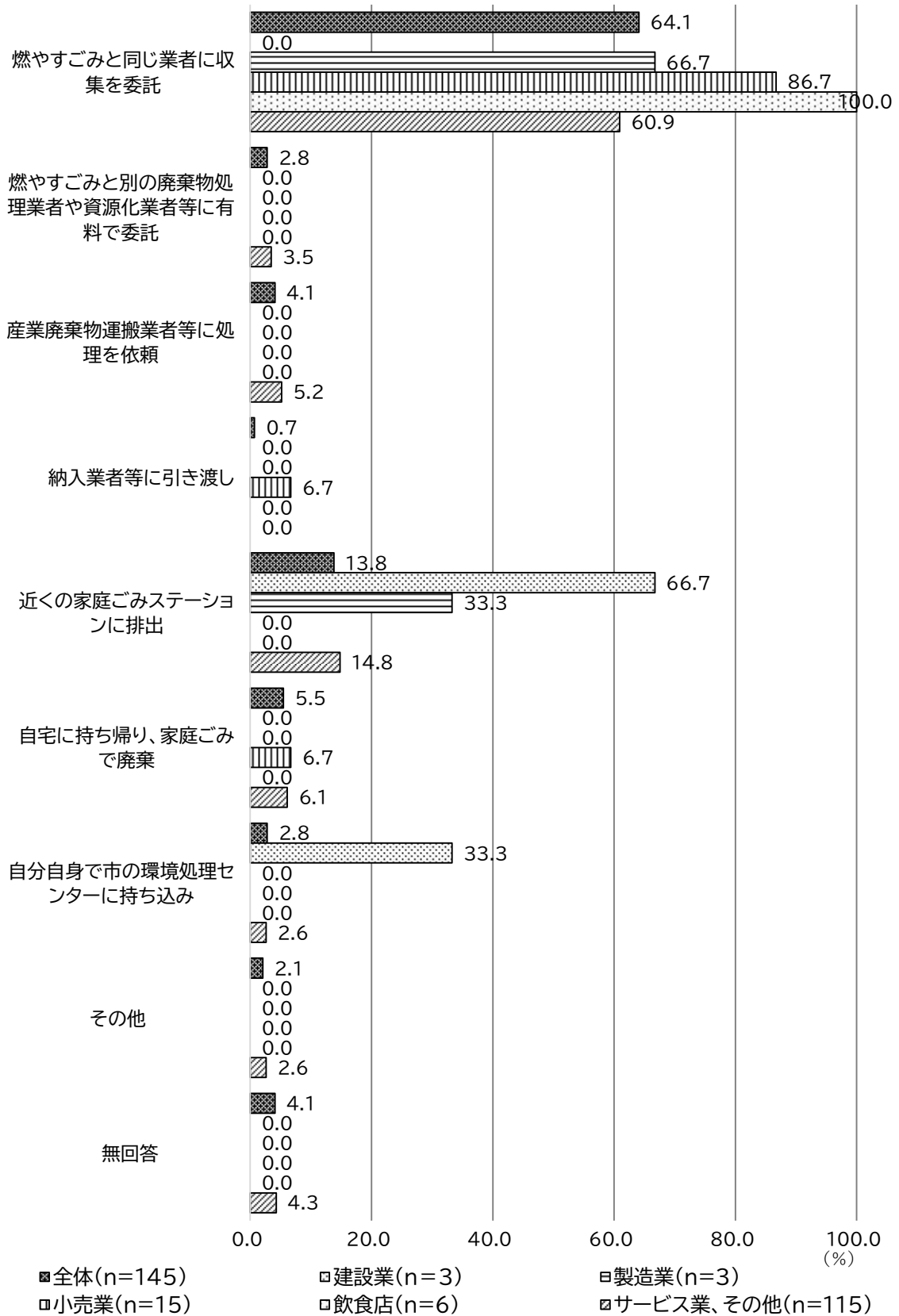
【業種別・容器包装プラ b.従業員の昼食、休憩ごみ】

業種別では、建設業を除くいずれの業種も60%以上が「燃やすごみと同じ業者に収集を委託」と回答しています。



【業種別・その他プラ（発泡スチロール等） b.従業員の休憩等のごみ】

業種別では、建設業を除くいずれの業種も60%以上が「燃やすごみと同じ業者に収集を委託」と回答しています。

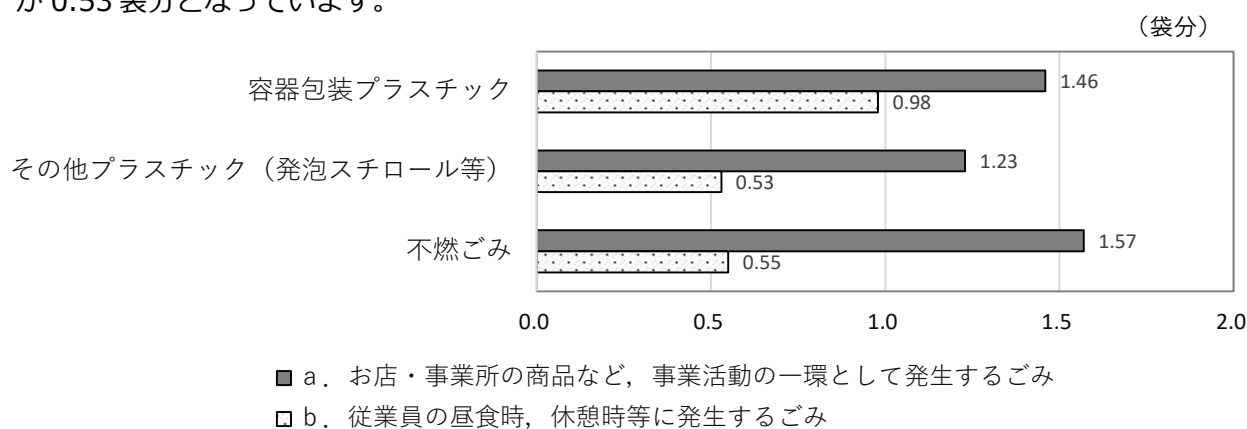


⑩ プラスチックごみと不燃ごみの量について

・1週間にどれぐらいの量のごみが排出されるか、ごみの量を回答いただきました。量は45リットルのごみ袋（普通のサイズのごみ袋）何袋分（例週に袋の半分程度でしたら、0.5袋分）と回答いただいています。また、ごみ袋数で計算が難しい場合は、週何個程度ごみができるか個数のどちらかで回答いただきました。

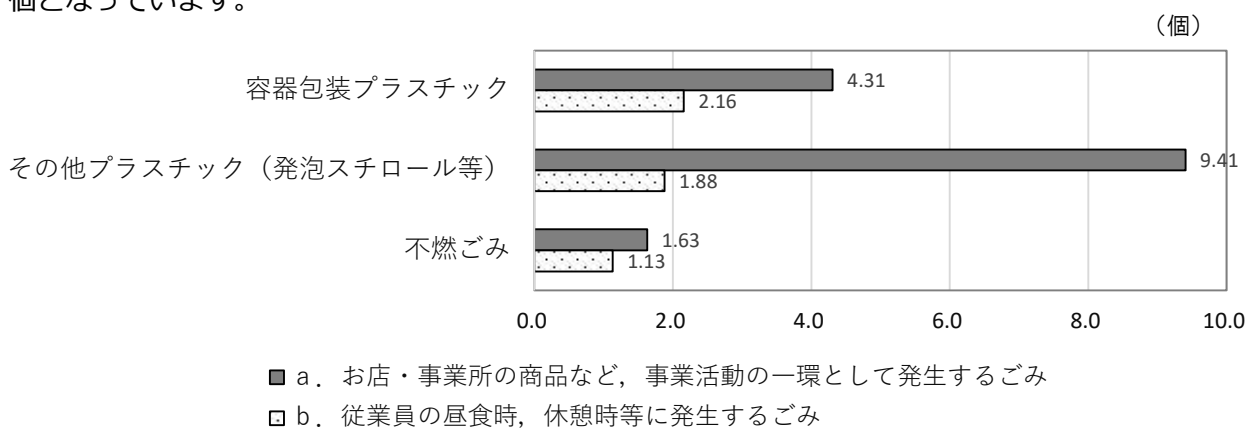
【回答事業所の平均（量）】

- ・「お店・事業所の商品など、事業活動の一環として発生するごみ」では、「不燃ごみ」が1.57袋分と最も多い結果でした。次いで「容器包装プラスチック」が1.46袋分、「その他プラスチック（発泡スチロール等）」が1.23袋分となっています。
- ・「従業員の昼食時、休憩時等に発生するごみ」では、「容器包装プラスチック」が0.98袋分と最も多い結果でした。次いで「不燃ごみ」が0.55袋分、「その他プラスチック（発泡スチロール等）」が0.53袋分となっています。



【回答事業所の平均（個数）】

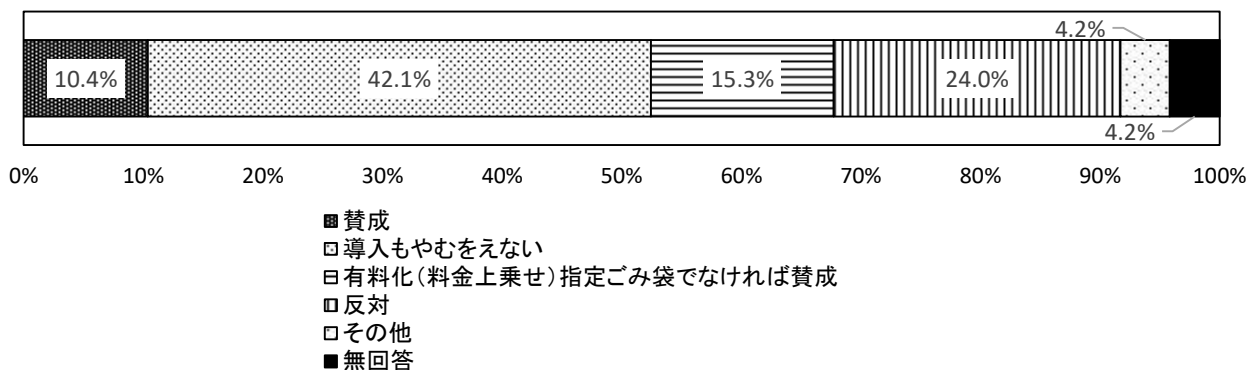
- ・「お店・事業所の商品など、事業活動の一環として発生するごみ」では、「その他プラスチック（発泡スチロール等）」が9.41個と最も多い結果でした。次いで「容器包装プラスチック」が4.31個、「不燃ごみ」が1.63袋分となっています。
- ・「従業員の昼食時、休憩時等に発生するごみ」では、「容器包装プラスチック」が2.16個と最も多い結果でした。次いで「その他プラスチック（発泡スチロール等）」が1.88個、「不燃ごみ」が1.13個となっています。



## (5) 指定ごみ袋制度の導入について

### ① 指定ごみ袋導入した場合、それ以外のごみ袋を使用できなくなることに

・「賛成」「導入もやむをえない」「有料化(料金上乘せ)指定ごみ袋でなければ賛成」を合わせて67.8%が賛同、「反対」は24.0%でした。



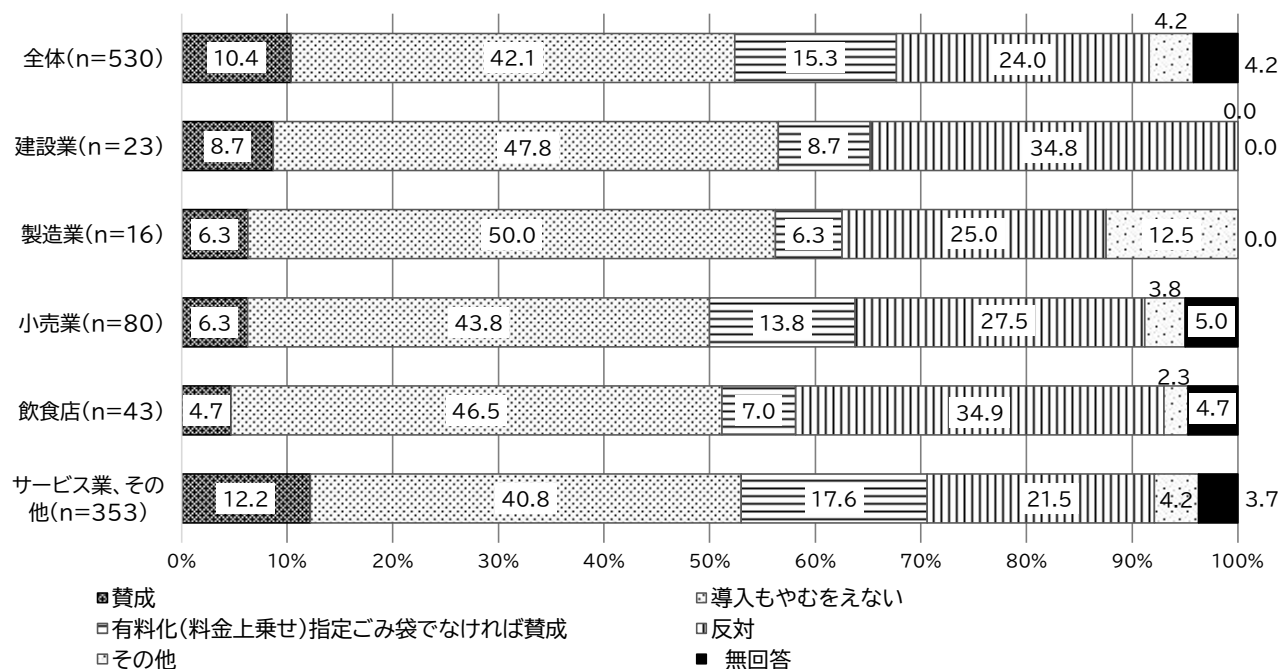
<その他の主な回答>

n=530、SA=530

- ・袋の大きさ、厚みを選べるものであればやむを得ない。事業所だけというのはおかしい。
- ・紙袋にするなら賛成。
- ・色指定の指定ごみ袋であれば賛成。 など

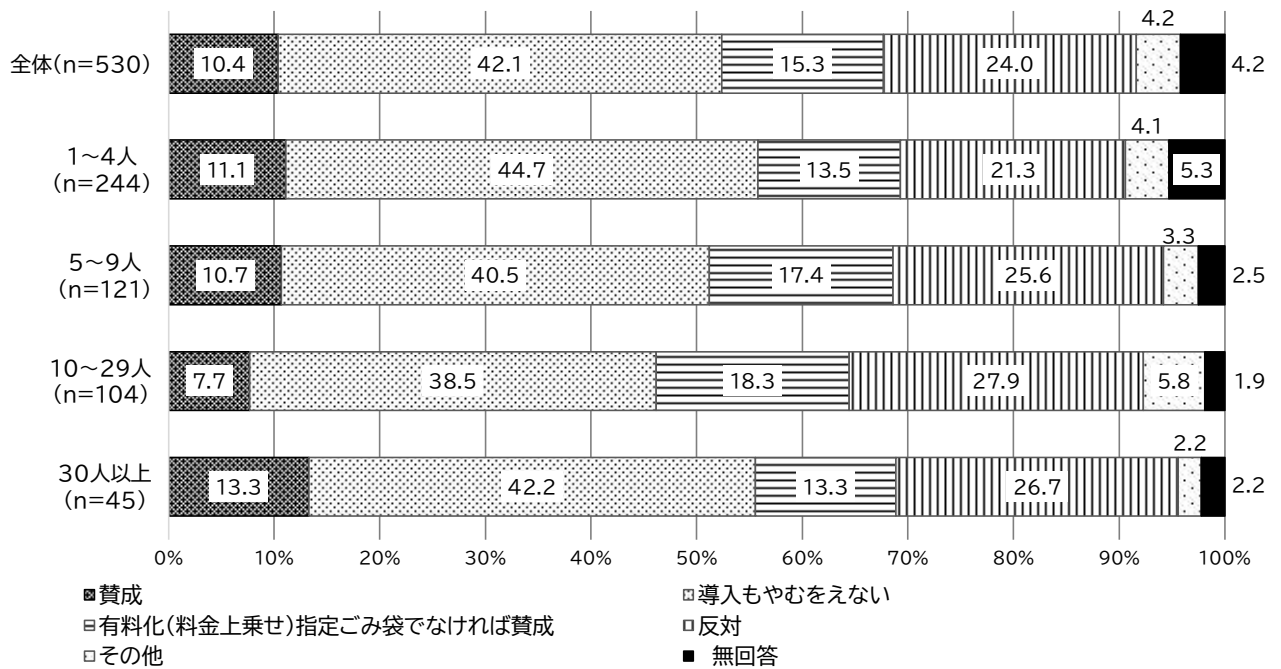
### 【業種別】

業種別では、いずれの業種においても「賛成」「導入もやむをえない」「有料化(料金上乘せ)指定ごみ袋でなければ賛成」を合わせて60%前後が賛同と回答しています。



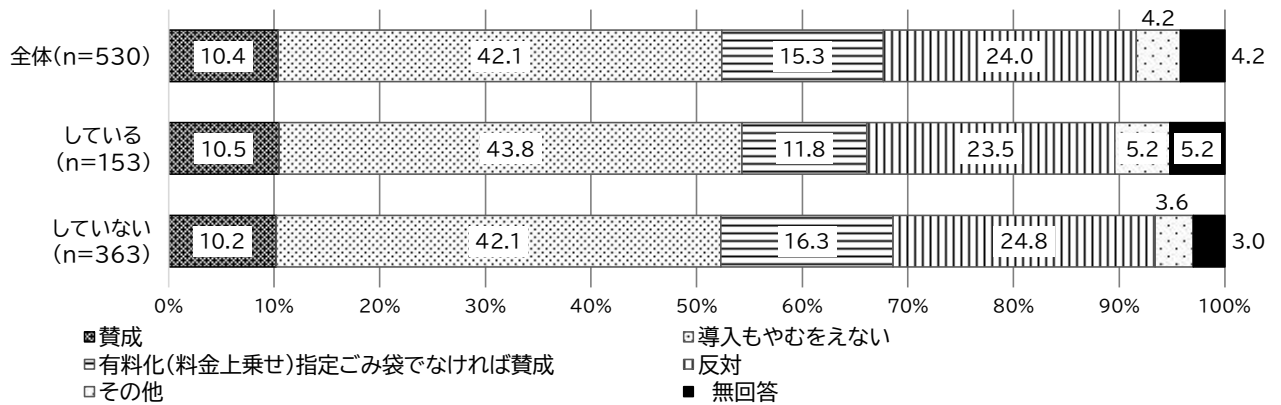
【従業員規模別】

従業員規模別では、いずれの規模においても「賛成」「導入もやむをえない」「有料化（料金上乘せ）指定ごみ袋でなければ賛成」を合わせて60～70%が賛同と回答しています。



【家庭の住居との併設別】

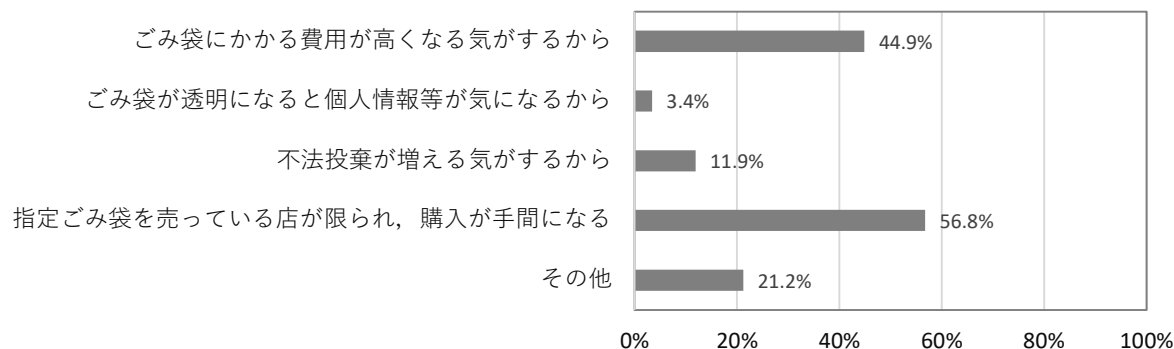
家庭の住居との併設別では、いずれの形態においても「賛成」「導入もやむをえない」「有料化（料金上乘せ）指定ごみ袋でなければ賛成」を合わせて60～70%が賛同と回答しています。





## ② 指定ごみ袋導入について反対の理由

- ・上記の設問において、「反対」を選択された事業者に対して、理由をお聞きしました。
- ・「指定ごみ袋を売っている店が限られ、購入が手間になるから」が 56.8%と最も多い結果でした。次いで「ごみ袋にかかる費用が高くなる気がするから」が 44.9%、「不法投棄が増える気がするから」が 11.9%となっています。



n=127、MA=228

### <その他の主な回答>

- ・プラスチックゴミを無くすためダンボールを使ってすてているから。また、カラスなどの害もないため。
- ・許可業者におねがいしているので必要ないと思われるから。 など

## ③ 【自由記述】 分別の促進・減量の推進・ごみ捨てマナーの向上のためのアイデア・考え・提案

### <一部抜粋>

#### ■ごみ袋の導入について

- ・指定のゴミ袋にして、少しでもゴミを減らす様にしていける事が大切だと思います。
- ・有料ゴミ袋配布(1か月分ほど)、カラーパンフ作成(子供や高齢者でも分かるように)。
- ・指定ごみ袋は 30ℓ も選べる様にしたい方が良いでしょう。
- ・透明ゴミ袋にすれば自然にマナーの向上につながります。

#### ■減量方策の充実等について

- ・ゴミになるような物を使用しない努力をする (ex、ペットボトル→マイ水筒)。
- ・マイバッグをすすめる。できる限り包装をしない。ていねいに告知を続ける。

#### ■普及啓発の促進

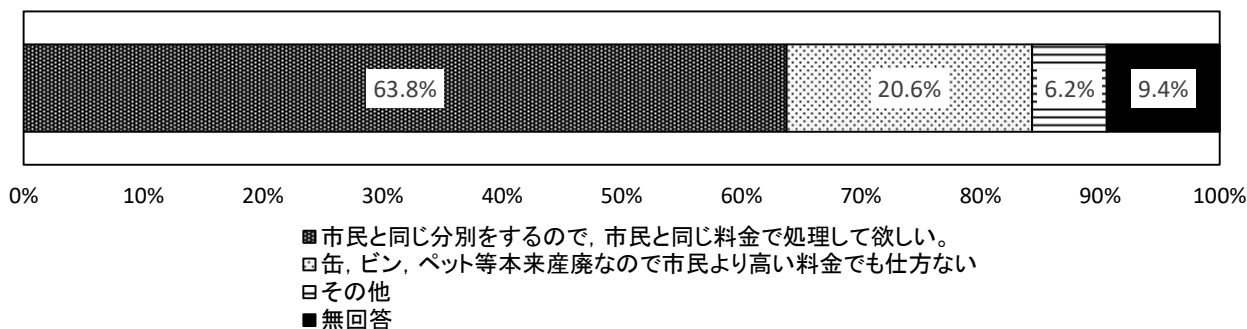
- ・ゴミの分別法、ゴミ排出場所、曜日、時刻等をわかりやすく広報していただきたい。
- ・わかりやすい分別表(イラスト入り)の作成。
- ・ハンドブック等で時折お知らせをいただく。

#### ■環境教育の促進について

- ・環境汚染に対する市民の意識を向上させる。小学生からの教育を充実させる。 など

④ 事業者用の指定ごみ袋の料金について

・「市民と同じ分別をするので、市民と同じ料金で処理して欲しい」が 63.8%と最も多い結果でした。次いで「缶、ビン、ペット等本来産廃なので市民より高い料金でも仕方ない」が 20.6%となっています。



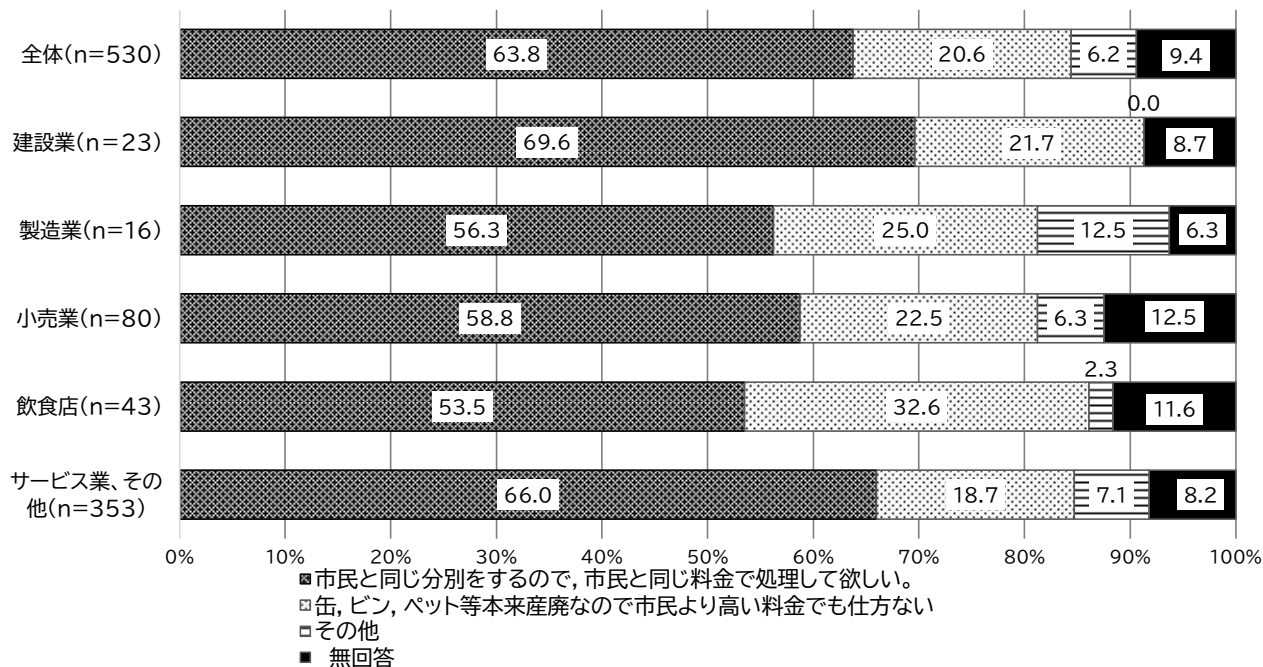
n=530、SA=530

<その他の主な回答>

- ・事業者用ゴミ処理は業者との契約の料金内で収めてほしい。
- ・ごみの種類別に設定したらと思う。
- ・会社も事業の大きさで市民税を納税しているので市民と同じでよい（量にもよる）。 など

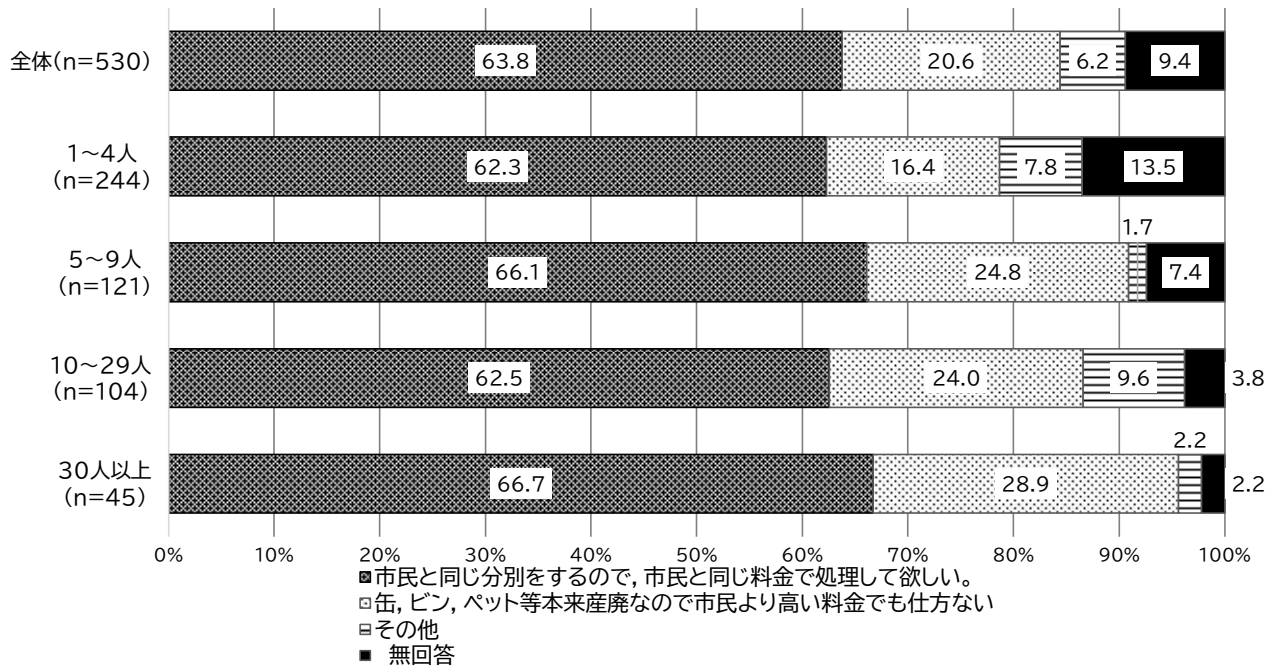
【業種別】

業種別では、いずれの業種も 50~70%が「市民と同じ分別をするので、市民と同じ料金で処理して欲しい」と回答しています。



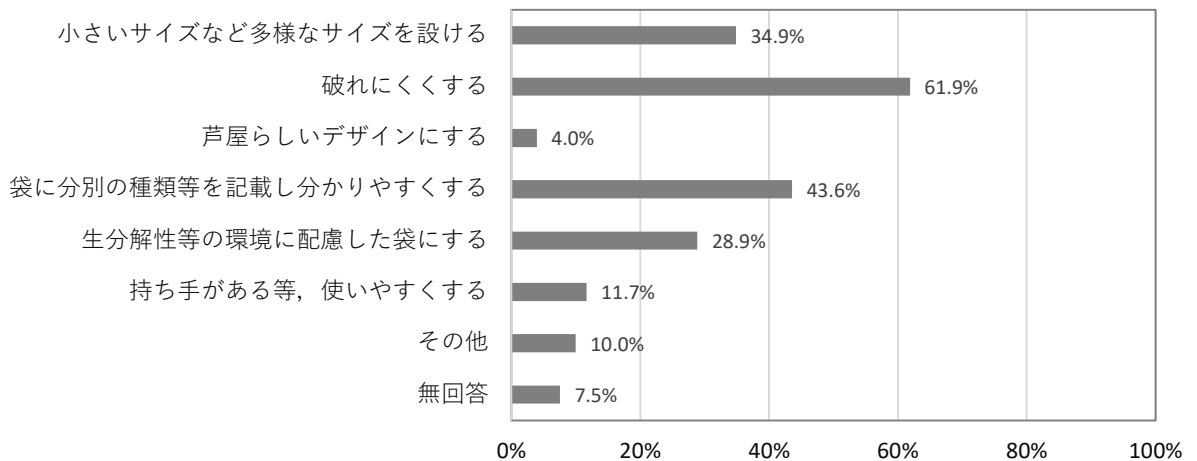
【従業員規模別】

従業員規模別では、いずれの規模においても60%以上が「市民と同じ分別をするので、市民と同じ料金で処理して欲しい」と回答しています。



⑤ 指定ごみ袋を導入するうえで考慮すべき項目

・「破れにくくする」が61.9%と最も多い結果でした。次いで「袋に分別の種類等を記載し分かりやすくする」が43.6%、「小さいサイズなど多様なサイズを設ける」が34.9%となっています。



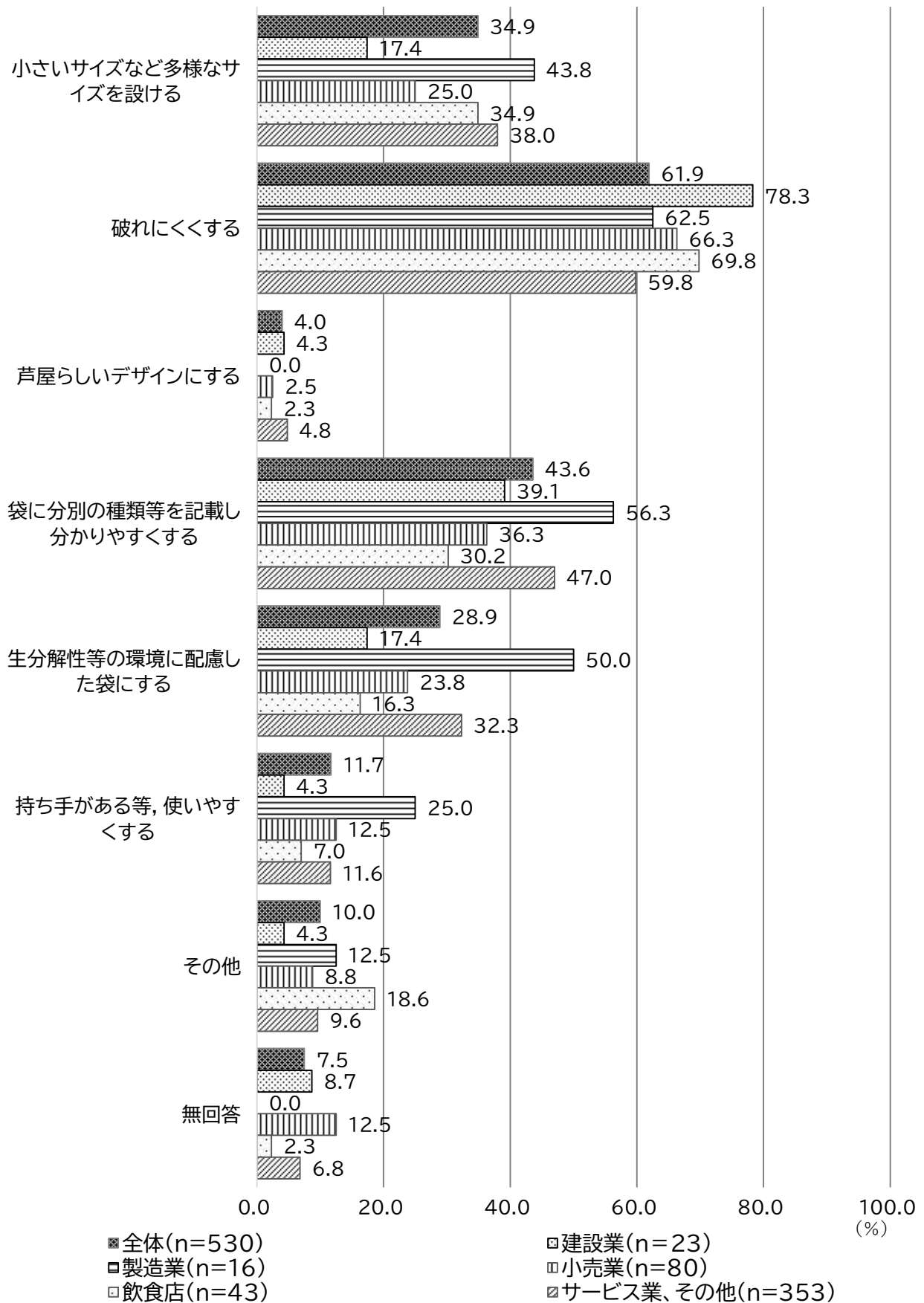
n=530、MA=1073

<その他の主な回答>

- ・コスト削減を最優先にすべき！
- ・販売場所を多くする。
- ・大きいサイズも必要。
- ・地方の様に袋ではなく「かご」に分別してもらおう。袋は生ゴミのみにすべし など

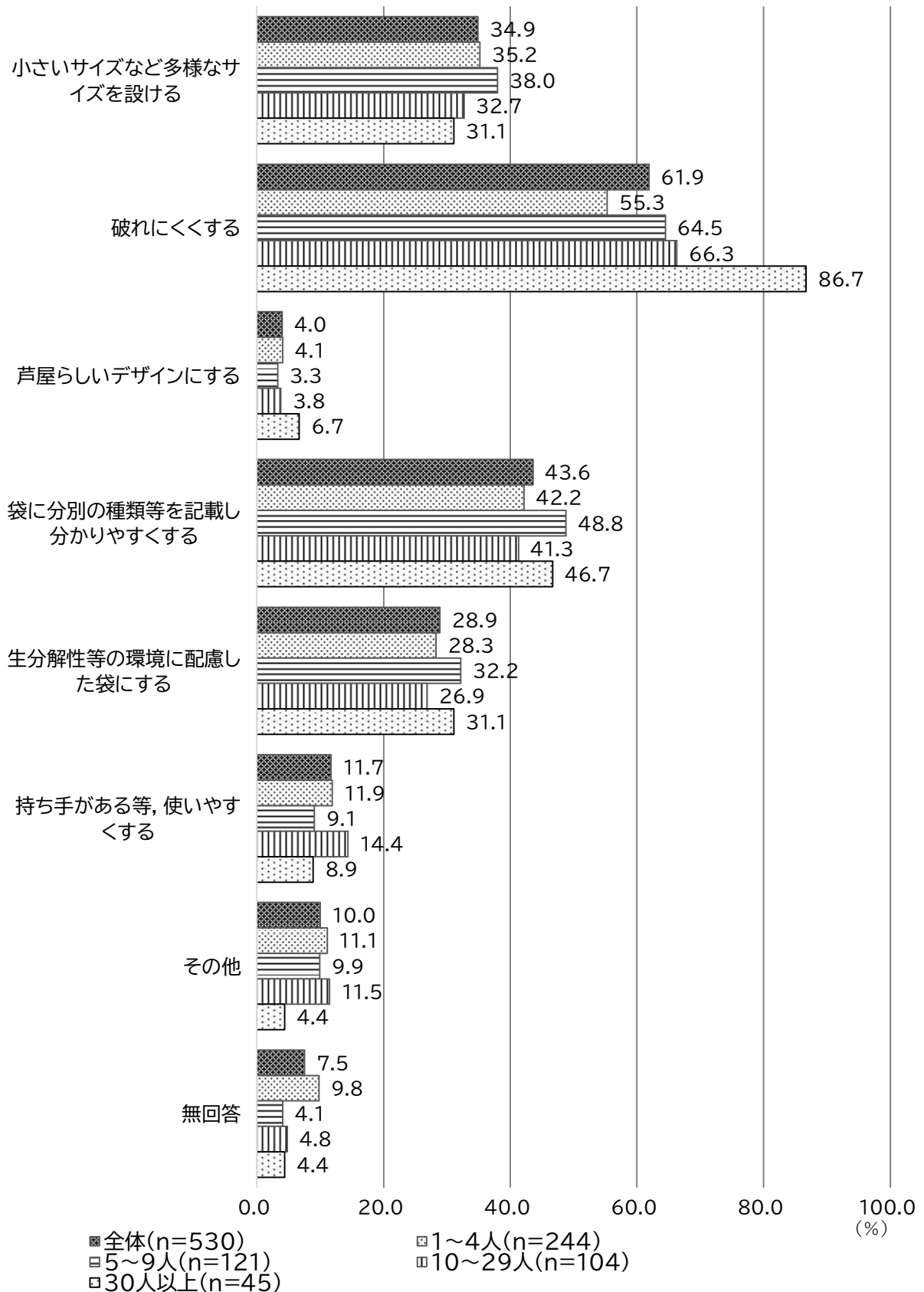
【業種別】

業種別では、いずれの業種も約60%以上が「破れにくくする」と回答しています。



【従業員規模別】

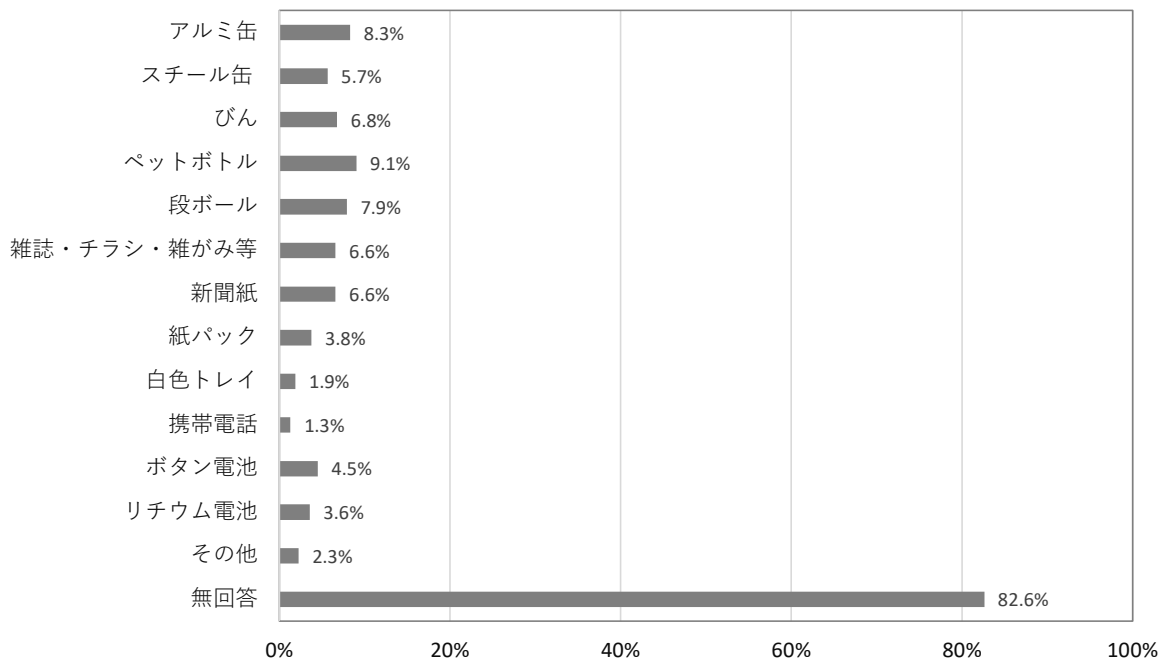
従業員規模別では、いずれの規模においても約60%以上が「破れにくくする」、40%前後が「袋に分別の種類等を記載し分かりやすくする」と回答しています。



## (6) 市民からのごみの回収等について

### ① 市民の方が、事業所に無料で持ち込み（回収）できる（されている）品目

・「無回答」以外では、「ペットボトル」が9.1%と最も多い結果でした。次いで「アルミ缶」が8.3%、「段ボール」が7.9%となっています。



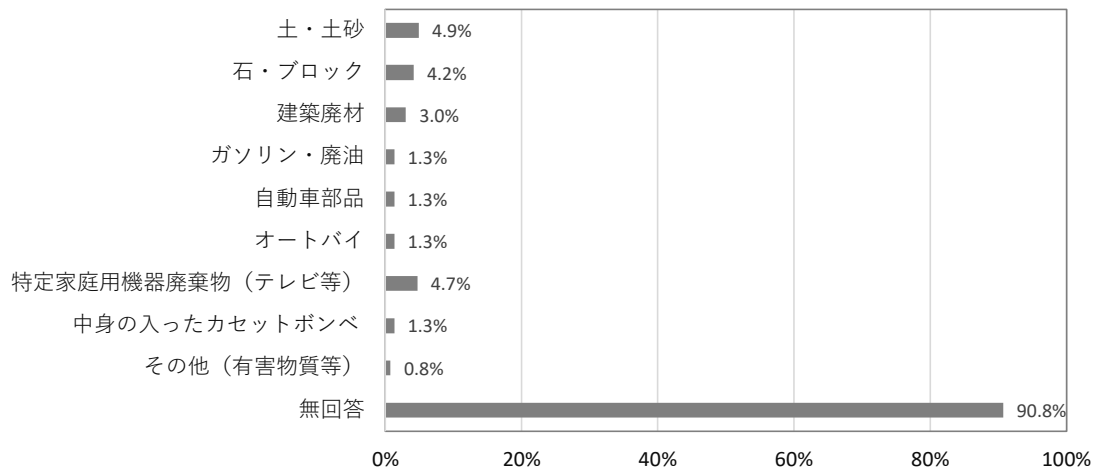
<その他の主な回答>

n=530、MA=800

- ・注射針などの医療品（医療・保健衛生業）
- ・牛乳パック、ビール瓶、一升瓶（茶色）（食品小売業（食品スーパー含む））
- ・透明トレイ（総合小売業（総合スーパー、百貨店））
- ・ペットボトルのキャップ、プルトップ（その他の小売業） など

### ② 市民の方から有料（事業として）で回収可能な廃棄物

・「無回答」以外では、「土・土砂」が4.9%と最も多い結果でした。次いで「特定家庭用機器廃棄物（テレビ等）」が4.7%、「石・ブロック」が4.2%となっています。



<その他の主な回答>

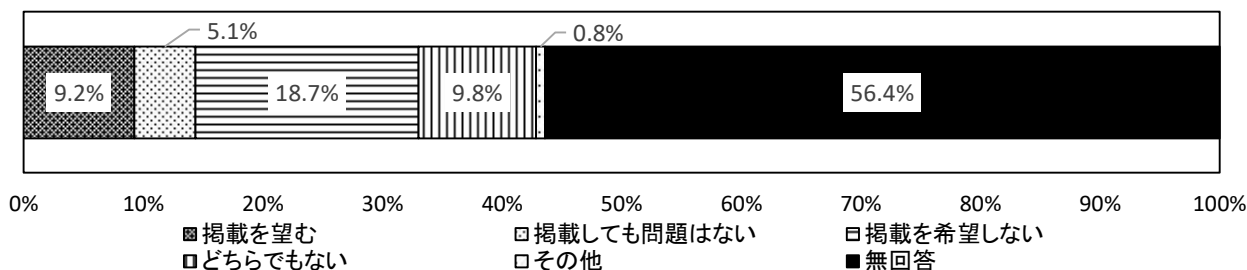
n=530、MA=602

- ・写真現像液（薬品廃液など）。

・針など など

### ③ 市のホームページ等での紹介について

- ・①②の設問において、回答いただいた品目について回収する事業所を、市のホームページ等で紹介することについての希望をお聞きしました。
- ・「無回答」以外では、「掲載を希望しない」が18.7%と最も多い結果でした。次いで「どちらでもない」が9.8%、「掲載を望む」が9.2%となっています。



n=530、SA=530

### ④ 【自由記述】 食べきり運動等、食品ロス対策として取り組まれていること

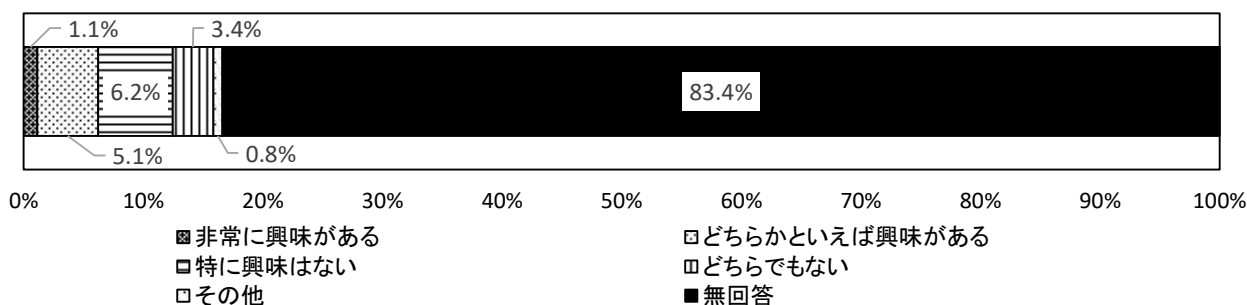
<一部抜粋>

#### ■ 食べきり運動の実施、食品ロス対策について

- ・小盛りの希望を受けつける。からしやミルクなど不要かを確認し、必要分を提供。お持ち帰り（たべのこし）にも対応している。
- ・少量サイズの品揃えと早期の売り切り。
- ・データを活用した製造、発注管理。 など

### ⑤ 食べきり運動等、食品ロス対策として取り組まれていることの紹介について

- ・食べきり運動等、食品ロス対策として、事業者が取り組まれていることを市が紹介したり、食べきり運動協力店としてステッカー等を作成することについての興味をお聞きしました。
- ・「無回答」以外では、「特に興味はない」が6.2%と最も多い結果でした。次いで「どちらかといえば興味がある」が5.1%、「どちらでもない」が3.4%となっています。



n=530、SA=530

<その他の主な回答>

- ・本部の許可が必要。 など

## (7)【自由記述】ごみに関してのご意見等

<一部抜粋>

### ■ごみ袋について

- ・指定ゴミ袋の導入良いと思います。又、プラスチックなどの分別も細かく決められると良いと思います。
- ・よい取り組みだと思います。1人1人がゴミを作らない心がけも必要だと感じます。又、カラス問題に対しても各地区で対策を考える必要があると思います。
- ・ごみの分別に関しては、弊社でも意識の向上を行うように働きかけを行っております。同じ袋であるがゆえに、分別が曖昧になってしまう部分も見受けられるため、現状ゴミを出す前にチェックを行わなければなりません。指定袋の導入により、分別することが当然との意識になってくれるきっかけになればと考えます。
- ・ごみ袋の有料化について趣旨はよく理解できるのですが、すでに契約している業者への委託料も年々高くなっており袋にまで課金されると本来業務に使える資金がさらに減ることになってしまいます。今まで通り市販の袋の試用を認めていただきたく思っています。ゴミ袋もできる範囲でリサイクルの袋を利用しています（商品梱包などの際に使われたもの etc.）。
- ・個人、企業であっても、ゴミ袋に排出者の名前を記入させるべき。名前が書かれ、しっかり分別ができていれば企業からのゴミも回収してほしい。規模があると思うので、難しいと思いますが。
- ・もし移行する場合は現在利用している袋も移行期中は使える様にして欲しい。

### ■啓発・教育について

- ・不要なものがきちんと未分別にならないように教育、また、土に返ることの出来るような物を製品として指導、選んで購入する習慣をつける努力をしていくべきだと存じます（ゴミを減らしていく工夫が要る）。
- ・事業者ゴミでもきちんと分別対応しているところもあります。市民ゴミの中に分別できていないものなどがあるように思います。海外の方も増えているので英語対応のゴミ分別チラシやパンフがあるとよいのでは？

### ■感謝・応援

- ・ゴミ回収業者の方には感謝しています。ゴミ回収していただけなかったらどんなに困ることか。ティッシュペーパーの箱、トイレトペーパーの芯、菓子の箱、シュレッダーの紙等、今まで燃えるゴミとして生ゴミと一緒にしていたものを分別して出すようにしたいと思っています。段ボール、新聞紙はリサイクルに出していましたが・・・。
- ・天候の悪い日も祝日も収集していただき、しかもこぼれ落ちたごみは丁寧に拾い集めて収集しておられ感謝しております。                    など